

2021年9月30日～29日

野党・野党共闘・自民党総裁選評価、自民党総裁選、コロナ

立民・枝野氏、野党4党と党首会談へ 選挙協力で意見交換

日経新聞 2021年9月29日 20:30



立憲民主党の枝野幸男代表

立憲民主党の枝野幸男代表は30日に共産、国民民主、社民、れいわ新選組の野党4党の党首とそれぞれ会談する。次期衆院選の選挙協力などを巡り意見交換する。枝野氏は10月4日に召集する臨時国会の首相指名選挙で自身に投票するよう要請する見通しだ。

しんぶん赤旗 2021年9月30日(木)

立民・共産、きょう党首会談

立憲民主党の呼びかけで、同党の枝野幸男代表と野党各党党首との会談が30日に行われることになりました。日本共産党の志位和夫委員長と、立憲民主党の枝野代表との会談は、午後1時半からです。

志位氏と枝野氏は、4月27日の会談で、総選挙に向けた協力のための協議を開始することで一致。9月8日には、市民連合と日本共産党、立憲民主党、社民党、れいわ新選組の野党4党で、命を守る新しい政権の実現をめざす野党共通政策で合意していました。

国民、玉木氏を首相指名へ 立民・枝野氏に投票せず

産経新聞 2021/9/30 00:25

国民民主党は、10月4日召集の臨時国会での首相指名選挙で、玉木雄一郎代表に投票する方向で調整に入った。立憲民主党は、昨年の首相指名選挙に続き枝野幸男代表に主要野党の投票を一本化して共闘を演出したい考えだが、応じない方針だ。玉木氏が30日に枝野氏と会い、伝える見通し。関係者が29日、明らかにした。

玉木氏は記者団の取材に対し、昨年は衆院で立民などと統一会派を組んでいた状況を踏まえて枝野氏に投票したと説明。現在は会派が分かれているとした上で「衆院選を控え、党としてアピールしなければいけない事情もある」と述べた。

菅義偉首相が選出された昨年9月の首相指名選挙では、共産、国民、社民、れいわ新選組の各党が枝野氏に投票した。

連合・神津里季生会長「野党共闘と共産党、原発...すべて話す」

〈週刊朝日〉

AERAdot.9/29(水) 8:00 配信

連合(日本労働組合総連合会)は立憲民主党と国民民主党の最大の支持勢力であり、次期衆院選で野党浮沈のカギを握る。神津里季生会長に野党共闘のあり方、共産党との確執、原発の是非を聞いた。

* * * —自民党の総裁選をどう見ましたか。「新型コロナ禍の影響で、いわゆる非正規雇用で働く人々の生活が追い

詰められています。4人の候補者は働き手への支援策を打ち出しましたが、連合が訴えてきた内容とほとんど同じです。中でも、河野太郎氏は『第2のセーフティーネット』として職業訓練の強化が必要だと語りましたが、これは私が近年言い続けてきたことそのものです。いま必要なのは、北政型の『雇用と生活保障のセーフティーネット』の確立です。スウェーデンなど北欧では、働く人々を路頭に迷わすようなことはしません。失業しても再就職のための職業訓練が充実しているのです。本来ならば立憲民主党や国民民主党に、有権者に対して力強く発信してもらいたいメッセージでしたが、自民党に取られてしまった印象です」——野党は出遅れた? 「昨年9月、旧立憲と旧国民が合流して大きな塊ができた。それはいいのですが、玉木(雄一郎)さんたちが合流しなかったのは残念でした。結局、二つの党が残った。連合は今年7月15日に両党とそれぞれ政策協定を結びましたが、党名も代表も変わっていないから有権者に清新さが伝わりにくいのです。もっと政策面での一致点など、協力関係をアピールしてほしい」——玉木さんたちが合流しなかった理由は? 「合流しなかった人たちは『綱領が問題だ』ということをや、よく言っていました。綱領が納得できないのなら粘り強く協議を続けるべきでしたが、期限を決めて打ち切ってしまった。われわれからすると、まさに画竜点睛を欠くという感じでした」——ネックは原発ですか。 「原子力発電所について『原発ゼロ』という表現が問題になったようです。私は枝野(幸男)さんに『そこで働いている人たちに思いを寄せてほしい』と伝えると、その点は理解してくれました。原発ゼロという言葉は、旧国民の政策にも入っているのですが、確かに綱領にまでうたうのはいかななものか、というのはそのとおりだと思います」

——連合も福島原発事故以降は、脱原発では? 「私たちは脱原発という言い方はしません。再生可能エネルギーの積極推進などによって、原子力エネルギー依存からの脱却を目指すということ」——言葉の問題ですか? 傘下の電力総連や電機連合のスタンスは? 「言葉は大切です。原発というと脱原発、原発ゼロという言葉とつながってしまい、すごくマイナスイメージになります。連合全体として、福島の事故以降、議論に議論を重ねて原子力エネルギーからの脱却ということを決めたのです。ですが、安全性が確認され、地元の合意も得られている原子力発電の再稼働はあってしかるべきだというのがわれわれの考えです」——9月8日に野党4党は「市民連合」と政策協定を結びましたが、国民は参加しなかった。「山口二郎先生(法政大学教授)が市民連合の政策提言で、エネルギー問題でも立憲・国民両党が乗れるように考慮してくれていると思うのですが……。われわれから見たら両党は大半の政策で一致しているにもかかわらず、お互いどうしても違いを浮き立たせようとしてしまいます」——2017年衆院選前の「希望の党騒動」も影響していますか? 「いまだに尾を引いています。小池(百合子)さんが排除の論理を持ち出したために、希望と旧立憲に分裂しました。希望の綱領には『寛容な改革保守政党を目指す』と書かれていましたが、ウソもいいところです。その後の政策協定書では、安保法制と憲法改正を支持し、選挙にあたり党が指示する金額を提供することなどと、ガラガラしたことが書かれていました」——あの政変劇から、自公政権は嫌でも野党にも任せられないというイメージが強まりました。

「それは日本の有権者にとって不幸なことです。コロナ対策で自公政権が失敗をくり返したうえ、国会すら開かないというひどい状況なのに、有権者にはもう一つの選択肢がないのですから」 ■ 共産と政権担う 絶対あり得ない——立憲と共産が選挙で共闘することについて、どう考えていますか。「いまの自公政権の1強政治が長く続いた弊害は歴然としています。自公に漁夫の利を与えないためには、政党間でいろいろと工夫があってもおかしくはない。政治の世界でさまざまな協力があることは否定しません。ただし、いま共産党は『野党連合政権』を提唱しています。連合は歴史的な経過もあって共産党とは相いれない関係です。そもそも立憲・国民が共産と政権を共にすることなど絶対にあり得ません」

——共産党との確執、対立の経緯は？「長い歴史がありますが、1989年の連合結成のときも連合を『反動勢力』などと決めつけ、長年にわたって私たちの間にさまざまな攻撃を加えてきました。皇室や日米同盟など国家観でも根本的な違いがあります。よく共産党はかつての姿とは変わったという人もいますが、民主集中制という考え方はいまも変わっていません。欧州では共産党が本当の意味で変わり、労働組合が応援する政党と連立政権を組んでいます。イタリアのオリーブの木がよく取り上げられますが、党名や綱領なども含め、本当の意味で変わらないと難しいと思います」——なかなか恩讐の彼方に、とはならない？「それは共産党が変わってくれないと」——野党統一候補が勝った4月の参院長野補選では、立憲と共産の具組織が政策協定を直接結んだことが連合で問題視され、枝野代表が陳謝しました。「選挙カーの上でダイレクトに手を握られてしまうと、地方連合会の運動員の方たちの腰が引けてしまい、選挙応援の士気にも影響してくるのです。お互い目的と立場をわきまえて済々と進めていけばいいことです」——政権交代のために、連合にできることは？「旧民主党政権が掲げた理念・政策は重要なものばかりでした。でも、いまのようにバラバラになってしまうと、どんなにいい政策を提言しても、有権者の信頼を得られない。立憲と国民が力を合わせることができるよう、われわれも応援し続けたいと思います」（本誌・亀井洋志）※週刊朝日 2021年10月8日号

衆院選 11月7、14日が有力 10月中旬にも解散、野党は共闘
2021/9/29 20:24 (JST)9/29 21:20 (JST)updated 共同通信社



自民党の岸田新総裁の記者会見を映す大阪・梅田の大型モニター＝29日午後6時4分

自民党の岸田文雄新総裁は臨時国会召集日の10月4日に首相に指名され、中旬にも衆院を解散するとの見方が強い。衆院選は「10月26日公示、11月7日投開票」か「11月2日公示、14日投開票」が有力視される。衆院議員の任期満了は10月21日で、任期越えの衆院選は現行憲法下で初。臨時国会は新首相の所信表明演説と各党の代表質問にとどまる見通しで、予算委員会での本格論戦が持ち越しとなれば、野党が批判を強めるのは必至だ。

岸田氏は直ちに党役員人事に着手。首相指名後、組閣し、副大臣・政務官人事に取り組み、支持率を上昇させて選挙戦に臨む。

立憲民主党は野党共闘で対抗する。

衆院選の勝敗ライン、岸田氏「与党で過半数」 解散時期は語らず

朝日新聞デジタル 2021年9月29日 18時35分



会見する自民党の岸田文雄新総裁＝2021年9月29日午後6時14分、東京・永田町、内田光撮影



岸田文雄新総裁は29日の自民党新総裁就任会見で、記者団からは次期衆院選の「勝敗ライン」と、自らの手で衆院を解散するつもりはあるかも問われた。

岸田文雄新総裁は勝敗ラインについて「与党で過半数であると思っている。衆院選は政権選択選挙なので、自公政権を選んでいただけるのか、あるいは野党政権を選ばれるのかを決める選挙」とし、「目標は過半数」と繰り返した。

衆院解散については、「今後国会も開かれる。政治状況もしつかり見極めたいうえで総理としてしかるべき時期を判断していきたいと考えている」と述べるにとどめた。

衆院選 7者懇 国民、立民候補の勝利に向け 総力結集を確認
長崎新聞 2021/9/29 11:00 (JST)



「心一つに戦い抜こう」と呼び掛ける連合長崎の宮崎会長（右）＝長崎市筑後町、ホテルセントヒル長崎

長崎県内労働4団体と国民民主、立憲民主、社民の各党県連でつくる7団体懇話会（7者懇、座長・宮崎辰弥連合長崎会長）は28日、長崎市内で会合を開き、次期衆院選長崎1～4区で国民と立民から立候補を予定する4人の勝利に向け、7団体が総力を結集することを確認した。

連合長崎と平和運動センター、同盟友愛連絡会、中連懇話会、各党県連の代表者が出席。立候補を予定する国民現職の西岡秀子氏（57）、立民現職（比例北陸信越）の松平浩一氏（47）、立民新人の山田勝彦氏（42）と末次精一氏（58）も同席した。7団体は2019年12月、4人を候補として推すことを決めていた。

冒頭と4人の決意表明以外は非公開。各選挙区の情勢や取り組みを共有した後、▽一丸となって取り組む▽各選挙区の総合選対に7団体の構成員が参画し、総力を結集できる体制を構築▽一斉行動などを企画し実行一の3項目を確認した。

終了後、宮崎会長は「衆院選に向け大きな弾みになったが、7団体が一つになるだけでは勝てない」として、活動をさらに広げていくと強調した。

「安倍氏のかいらい政権」 野党、岸田新総裁を一斉批判



左から立憲民主党の枝野幸男代表、

共産党の志位和夫委員長、国民民主党の玉木雄一郎代表、日本維新の会の松井一郎代表

自民党新総裁に岸田文雄前政調会長が決まったことを受け、野党は29日、「自民党は変わらないことを示した」（立憲民主党の枝野幸男代表）などと一斉に批判した。河野太郎規制改革担当相がトップの党員投票結果と異なり、国会議員投票は安倍晋三前首相ら「反河野」の影がちらつく結果とみて、衆院選を前に岸田氏への対決姿勢を強める方針だ。

枝野氏は記者団に「安倍・菅政権の何を否定するのか、明確に示していただくことが必要だ」と強調。特に、安倍氏の経済政策「アベノミクス」への是非を明確にするよう求めた。立民幹部は「岸田氏は安倍氏のかいらいだ。背後霊が見えるので対立軸をつくりやすい」と分析した。

共産党の志位和夫委員長も記者会見で『「安倍・菅直系政治」を選んだ。党の表紙だけ変えても、中身は変わらない」と酷評。「行き詰まった自公政治を終わらせる、政権交代こそ求められている」と訴えた。

国民民主党の玉木雄一郎代表は記者団に「岸田氏が掲げた政治の信頼回復が、安倍氏の影響下でどれだけ実現できるのか厳しく見定めたい」と語った。

安倍・菅政権に「是々非々」路線で対応してきた、日本維新の会の松井一郎代表も大阪市内で記者団に「永田町の常識は世間の非常識。党内の権力争いの中、旧態依然とした体質をさらけ出したのではないかと距離を置いた。

立憲・枝野代表「残念ながら自民党は変わらない、変わらない」

朝日新聞デジタル 2021年9月29日 18時58分



執行役員会で発言する立憲民主党の枝野幸男代表

2021年9月28日午前11時、国会内、上田幸一撮影



立憲民主党の枝野幸男代表は29日、岸田文雄氏が自民党の新総裁に選出されたことを受けて、「新総裁として安倍・菅政権と何が違うのか。まず説明いただくことがまず最初だ」と述べ、衆院選前に予算委員会での議論を行うよう求めた。国会内で記者団に語った。

枝野氏は神妙な表情で、結果について「残念ながら、自民党は変わらない、自民党は変わらないと言ったことを示した結果だった」と指摘した。

記者からの「自民党が変わらない、変わらない結果とは具体的にどういった点か」という質問に、枝野氏は「決定にいたるプロ

セス」と回答。さらに「党員票で下回っているなか、派閥連携するなかで議員票で勝ったプロセスか」と問われると、「相手方の内部のことについて、具体的に評論家のように解説するのは避けたいという風に思います」と笑みを漏らした。

立憲内には、世論の支持が高い河野太郎行政改革相が新総裁になるより、岸田氏が派閥の合従連衡で選出された方が衆院選でくみしやすいという見方が強かった。

立民「自民は変わらない」 岸田新総裁に対決姿勢

産経新聞 2021/9/29 22:58

29日の自民党総裁選で岸田文雄氏が新総裁に選出されたことについて、連立を組む公明党は間近に迫る衆院選での共闘に期待を示す一方、野党は「自民党は変わらない」（立憲民主党の枝野幸男代表）などと対決姿勢を鮮明にした。

公明の山口那津男代表は「自公が結束して選挙に臨み、必ずや勝利して国民の期待に応えていきたい」と記者団に述べた。「新総裁の誕生を心からお祝い申し上げたい」とも語った。

岸田氏が任期中の憲法改正や敵基地攻撃能力の保有検討などを掲げたことは「総裁選という土俵の下で訴えられたと思うが、国民の理解を得ていくことが最も重要だ。自公連立政権の合意で方向性を示していきたい」と牽制（けんせい）した。

一方、枝野氏は記者団に「自民党は変わらない。変わらないということを示した新総裁の選出だった」と指摘。岸田氏には「安倍晋三、菅義偉両政権と何が違うのかを説明いただくことがまず最初だ」と語り、10月4日召集の臨時国会で予算委員会を開くよう求めた。「国民生活を疲弊させ、結果的に経済を低迷させてきた『アベノミクス』を否定するのか、肯定するのかを明確に示すことが必要だ」とも強調した。

立民は、衆院選の直前に総裁選が行われ、自民の政党支持率が上昇したことなどに警戒を強めている。安住淳国対委員長は記者団に、臨時国会では予算委を含め十分な質疑時間を確保するよう求める考えを強調。「理不尽なことをすれば（臨時国会の）初日に内閣不信任決議案提出もあり得る。徹底抗戦する」とも語り、対決ムードを高めた。

共産党の志位和夫委員長も、自民について「党の表紙だけ変えても中身は変わらない」と強調し、衆院選前の予算委開催を求めた。

「今求められているのは政権交代だ」とも語り、立民と政権協力のあり方を協議する党首会談の開催を目指す考えを示した。

日本維新の会の松井一郎代表（大阪市長）は、河野太郎ワクチン担当相が党員・党友票で岸田氏を上回っていたことを念頭に「最後は永田町の派閥論理だろう。ただ、永田町の常識は世間の非常識だ。党内の権力争いの中で、旧態依然とした体質をさらけ出したということではないか」と評した。大阪市内で記者団に語った。国民民主党の玉木雄一郎代表は「政治の信頼回復が安倍氏の影響下でどれだけ実現できるか、厳しく見定めたい」と語った。

立憲・枝野代表「残念ながら、自民党は変わらない」 岸田新総裁の選出に

東京新聞 2021年9月29日 20時52分



立憲民主党の枝野幸男代表

立憲民主党の枝野幸男代表は29日、岸田文雄氏が自民党の新総裁に選ばれたことについて、「残念ながら、自民党は変わらない、変わらないと示した新総裁の選出だったと思う。まずは安倍、菅政権の何を否定するのか。明確に示していただくことが必要だ」と報道陣に語った。

枝野氏は、新型コロナウイルス対策やアベノミクスをどう評価するのか明確にすべきだと主張。総裁選で掲げた岸田氏の政策は具体的ではないとし、「コロナ対策、そして国民生活の困窮、経済の長期にわたる低迷に対して具体的に何をなさるか示していただきたい」と述べた。衆院選に向けては、自宅療養中に死亡する人たちが出たコロナ対策の転換や、アベノミクスからの転換、森友学園問題を巡る財務省の決裁文書改ざん問題などを論点にする方針を示した。

報道陣との主なやりとりは以下の通り。

枝野氏 自民党の新総裁が決まった。お祝いを申しあげたい。今の国会議席で指名されれば岸田氏が100代総理になる。任期は短い、新しい政府としてしっかり説明責任を果たして、論戦に応じていただき、どういう政権を作りどういう社会を目指すか互いに国民の前でぶつけ合いたいと期待している。

Q 岸田氏の訴える政策は立憲民主党と似ている部分がある。どのように違いを見つけて総選挙に臨むのか。

枝野氏 まず、新総裁として安倍、菅政権と何がどう違うのかを説明いただくことが最初だ。残念ながらここまで拝見していると、自民党は変わらない、自民党は変わらないと示した新総裁の選出だったと思う。まずは安倍、菅政権の何を否定するのか。特に国民生活が疲弊し、結果的に株価だけで経済を低迷させてきたアベノミクスを否定するのか、それとも肯定するのか。そのことについて明確に示していただくことが必要だ。

しんぶん赤旗 2021年9月30日(木)

政治の中身は「安倍・菅直系政治」 自民新総裁に岸田氏 志位委員長が会見



(写真) 記者会見する志位和夫委員長=29日、国会内

日本共産党の志位和夫委員長は29日、国会内での記者会見で、同日の自民党総裁選で岸田文雄氏が当選したことを受けて、次のようにのべました。

一、今度の結果は、自民党が、政治の中身では、「安倍・菅直系政治」を選んだということだ。

一、岸田氏は、9年間に及ぶ安倍・菅自公政治を、重要閣僚として、党の幹部として、中枢で支えてきた。とくに、2015年、安倍政権が、憲法違反の安保法制を強行したさいの外務大臣として、立憲主義の破壊に重大な責任を負っている。

総裁選でも、憲法改定の4項目の推進、原発再稼働、大軍拡を進めるとの主張を行った。国政私物化疑惑の究明にも背を向ける姿勢をあらわにしてきた。コロナ対応でも、安倍・菅政治による失政への反省は一言ものべなかった。

まさに政治の中身では、「安倍・菅直系政治」というほかない。党の表紙だけ替えても、中身は全く変わらない。

一、今求められているのは、コロナ対応の無為無策、強権政治、腐敗政治によって行き詰まった自公政治そのものを終わらせる政権交代だ。

市民と野党の共闘で、自公政権を倒し、政権交代を実現し、新しい政権をつくるために全力をあげる。

しんぶん赤旗 2021年9月30日(木)

岸田新総裁は安倍・菅直系 何から何まで路線継承

29日に、河野太郎規制改革担当相、高市早苗前総務相、野田聖子幹事長代行を破り、自民党新総裁に選出された岸田文雄前政調会長。岸田氏のコロナ対応や外交、改憲への姿勢などは「安倍・菅政治直系」ぶりが鮮明です。



(写真) 安保法制について答弁する当時の

安倍晋三首相(左)と岸田文雄外相(右)=2015年5月27日、衆院安保法制特委

外交 安保法・同盟強化を担う

岸田氏は、第2次安倍政権発足から17年8月まで、戦後最長の約4年8カ月にわたり外相を務めました。稲田朋美氏の辞任に伴って、17年7～8月は防衛相も兼任。安倍氏との「蜜月」ぶりを示しました。

安倍氏は当初、米中双方から「超タカ派」とみられており、「ハト派」のイメージがある宏池会会長・岸田氏の起用は、そうした印象を和らげるためとの見方もありました。しかし、実際は、安保法制や辺野古新基地建設の強行など、安倍氏と一体になって日米同盟強化を推進しました。

24日のオンライン公開討論会では、外相時代の実績として15年6～9月の「安保法制国会」で「216時間答弁に立った」ことを誇示。これに先立つ同年4月、安倍氏が米議会で安保法制の成立を米側に誓約し、日米同盟を「希望の同盟」だと言い放った屈辱的な演説について、岸田氏は著書『核兵器のない世界へ』の中で「歴史的な演説」だと絶賛しています。

さらに13日の会見で、安倍氏が推進してきた「自由で開かれたインド太平洋構想」の継承を宣言。憲法違反の敵基地攻撃能力の保有についても「有力な選択肢」と表明しました。5年間の軍備増強計画である「中期防衛力整備計画」(19～23年度)については前倒し改定も視野に入れ、軍事費は「結果的に増額になる」と述べ、軍拡路線を推進する考えも示しています。

岸田氏は、被爆地・広島県の選出であるにもかかわらず核兵器禁止条約を一貫して否定し、被爆者の願いを踏みにじってきました。

国連の核兵器禁止条約交渉会議(17年3月)では、米国の圧力を受けて日本は決議に反対。岸田氏は会見で「核兵器国と非核兵器国の対立を一層深め、逆効果になりかねない」と表明し、これが同条約に対する政府の基本見解になっています。

日米実務者が抑止力について協議する「日米拡大抑止協議」は

当初、非公表でしたが、岸田氏の外相時代から実施を公表。著書で岸田氏は、同協議の「政治レベルへの格上げ」を提唱しており、米国の「核抑止」強化の姿勢を示しています。

疑惑と強権政治 真相解明に背 手法継承

安倍政権下で相次いだ政治の私物化、「政治とカネ」の問題など、疑惑の真相解明にも背を向けています。

森友学園問題をめぐり、岸田氏は当初、「調査が十分かどうかは国民側が判断する話。国民は足りないと言っている」（2日、TBSのBS番組）と発言していました。しかし、この発言に対する安倍氏の「不快感」が伝えられると、「再調査等は考えていない」「すでに行政において調査が行われ、報告書も出されている。司法において今、裁判が行われている。そうしたことを踏まえ、必要であれば説明を行う」（7日、記者団から問われ）と発言を後退。わずか5日で自身の発言を覆し、安倍氏への付度（そんたく）ぶりが鮮明です。

岸田氏は、菅首相による強権政治も継承。憲法が保障する「学問の自由」を踏みにじった日本学術会議への人事介入・任命拒否について「人事の理由説明は難しい」などと述べ、撤回を否定しています。

安倍政権下で政府や党の要職を務めてきた自身の共同責任についても無反省。広がった国民の政治不信に向き合うこともなく、疑惑にふたをし、政治の私物化・強権政治を引き継ぐのが岸田氏です。

憲法破壊 改憲明言 歴史観も共有

岸田氏は、安倍・菅政権が進めてきた憲法蹂躪（じゅうりん）・立憲主義破壊を反省することなく、憲法9条への自衛隊明記を含む「自民党改憲4項目」の実現に取り組む立場を示しています。総裁選の公開討論会では、「自衛隊の（9条への）明記は違憲論争に終止符を打つために重要だ」と安倍氏の持論をそのまま代弁。自身の総裁任期中に改憲実現を目指すとも明言し、憲法破壊に拍車をかける危険な姿勢を打ち出しています。

岸田氏は著書の中で、安倍氏の掲げた改憲案は『「自衛隊の存在を明記すること」に重点が置かれており、同時に『平和主義』の放棄を一切、考えているわけではない』として、「現実的なものだ」と評価しています。その上で安倍氏を「現実主義に則（のっと）った政治のリーダー」「極めて実直な『リアリスト』」などと礼賛。安倍氏の憲法破壊に共鳴し、同じ道を歩もうとしています。

岸田氏と安倍氏は当選同期（1993年）。ともに自民党の「歴史・検討委員会」に所属し、日本の侵略戦争を美化する歴史わい曲の「英才教育」を受けてきました。その後、安倍氏が事務局長を務めた「日本の前途と歴史教育を考える若手議員の会」（後に「日本の前途と歴史教育を考える議員の会」となる）や、改憲推進の「日本会議国会議員懇談会」にも所属。歴史教科書への介入、日本軍「慰安婦」問題への旧日本軍の関与を認め、謝罪した「河野談話」への攻撃などを行ってきた“靖国派”の一員です。

岸田氏は、首相就任後の靖国神社参拝について「時期、状況を考えた上で、参拝を考えたい」とも述べています。日本の過去の植民地支配と侵略戦争を正当化する歴史観を踏襲しています。

コロナ対策 無策・逆行に反省なし

岸田氏は新型コロナウイルス対応について、「危機管理の要諦

（ように）は、最悪の事態の想定だ。『多分よくなるだろう』では、コロナに打ち勝つことはできない』などと述べていましたが、新総裁決定の当日まで自ら共同責任者である安倍・菅政治の逆行と無策について具体的な反省を一切語りませんでした。

所見表明では菅首相について「身を粉にして奮闘された」と称賛。安倍晋三前首相の退陣表明時と同様のメッセージを送り続けています。

岸田氏が新たに打ち出したコロナ対策は、「11月中の希望者全員のワクチン接種完了」「年内の経口薬普及」と菅路線の継承と言えるものばかりです。臨時医療施設の開設や国公立病院のコロナ重点病院化によって、病床・医療人材の確保を徹底すると主張しますが、具体的な規模・期限は明確に言及していません。

コロナ病床の確保では「公衆衛生上の問題が経済・外交問題にも発展する『有事』になり得る」として、「緊急時は半強制的に協力してもらおう。応じなければ罰則も考える」と述べるなど、安倍・菅政治の強権発動も引き継ぐ考えを見せました。

昨年、党コロナ対策の責任者として安倍前首相とともに一定基準を満たす世帯へ30万円給付を行う緊急経済対策を進めていましたが、反対する多くの国民の声に押されて一律10万円給付に変わる迷走を生み出しました。

経済・気候危機 「アベノミクス」を礼賛

岸田氏は「新自由主義からの転換」などと述べながら、金融緩和、財政出動、成長戦略を三つの柱とする大企業優遇のアベノミクスについて「間違いなく大きな成果があった」と評価し、これを継承する姿勢を示しています。

安倍政権は消費税率を2度にわたり引き上げ、コロナ危機とダブルパンチで国民生活に打撃を与えました。世界では61カ国で消費税減税が実施されていますが、岸田氏は「当面、消費税にさわらない」と減税を否定。一方で、企業への“税制支援”などを主張しています。

気候危機にも後ろ向きです。国連の「気候変動に関する政府間パネル」が人間の活動が地球温暖化に与える影響について「疑う余地がない」と断定していることに対し、岸田氏は「科学的検証が前提」と懐疑的な姿勢をとり、菅政権が策定した「エネルギー基本計画」の2030年の再エネ比率36～38%目標について「十分」との認識を示しています。多くの環境団体・シンクタンクが掲げる再エネ40～50%と比べてあまりに低い数値目標です。「温暖化対策」を口実に、原発再稼働、核融合炉の研究開発まで狙っています。

自民党タウンミーティングで高校生からの「気候変動は待ってくれない。積極的に行動してほしい」との呼びかけに対して、岸田氏は「国民運動として努力する雰囲気をつくるのが大事」と述べるだけで、政府や大企業の責任を棚上げしました。

ジェンダー問題 選択的夫婦別姓先送り

『「家族の絆」との整理がしていない。引き続き議論を」。岸田氏は、総裁選への立候補表明の記者会見（8月26日）でこう述べ、選択的夫婦別姓の実現を先送りしてきた安倍・菅政治を引き継ぐ姿勢を示しました。

1996年に法制審議会（法相の諮問機関）が同制度導入を答申しましたが、「家族の絆が壊れる」として日本会議国会議員懇談会（日本会議議連）メンバーが強硬に反対し、いまだに実現の

見通しは立っていません。岸田氏も同議連のメンバーで、歴史観とともにジェンダー平等でも特異な認識を背景にしています。

また岸田氏は、総裁選立候補者によるテレビ番組の討論（9月17日）で「同性婚を認めるとは言ってない」と述べ、「LGBT（性的少数者）理解増進法」にも「留保」（「毎日」アンケート）の態度です。自民党で8%（8月時点）となっている次期総選挙候補者の女性比率の改善にも「努力の必要」を述べるにとどまっています。

コロナ危機によって、男女間の賃金格差による女性の困窮という構造的な女性差別が浮き彫りとなり、ドメスティックバイオレンス（DV）や自殺者の増加への対策は急務となっています。しかし岸田氏の「政策集」には、女性の困窮に関する言及はありません。

公明、ハト派・岸田氏に好意的 山口氏「衆院選へ結束」

時事通信 2021年09月29日 19時23分



自民党総裁に岸田文雄氏が選出されたことを受け、取材に応じる公明党の山口那津男代表＝29日午後、国会内

自民党新総裁に岸田文雄氏が選出され、連立を組む公明党では「カラーが近い」（幹部）などと好意的な受け止めが相次いだ。ハト派として知られる岸田氏とは立場が近く、党の主張を国の政策により強く反映させられるとの期待が出ている。

山口那津男代表は29日、次期衆院選に関して国会内で記者団に「自公で結束し、必ずや勝利して国民の期待に応えたい」と強調。岸田氏が数十兆円規模の経済対策を年内にまとめる考えを示したことを受け「意欲的な方向を掲げた」と評価した。

衆院広島3区に初めて独自候補を立てる公明党には、広島選出の岸田総裁誕生は追い風になるとの計算もある。山口氏は「自公連立は選挙協力の実績をしっかりと示すことも課題だ」と訴えた。

公明・山口代表「自公結束して衆院選に勝利」

産経新聞 2021/9/29 18:41

公明党の山口那津男代表は29日、自民党総裁選で岸田文雄氏が勝利したことを受け「自公が結束して選挙に臨み、必ずや勝利して国民の期待に応えていきたい」と国会内で記者団に述べた。「新総裁の誕生を心からお祝い申し上げたい」とも語った。

岸田氏が任期中の憲法改正や敵基地攻撃能力の保有検討など公明が慎重な立場を取る政策を掲げたことについては「総裁選という土俵の下で訴えられたことはあると思うが、国民の理解を得ていくことが最も重要だ。自公連立政権の合意で方向性を示していきたい」と牽制（けんせい）した。

維新、衆院選にらみ対決姿勢 改革路線前面に

産経新聞 2021/9/29 21:37

自民党は29日、菅義偉首相の任期満了に伴う総裁選を行い、第27代総裁に岸田文雄前政調会長（64）を選出した。岸田新総裁誕生を受け、菅政権とのパイプを有してきた日本維新の会は次

期衆院選をにらみ、対決姿勢を鮮明にする構えだ。改革路線を前面に打ち出し、スタンスの違いを強調することで、地盤の大阪以外でも存在感を示す思惑があるとみられる。

「永田町の派閥論理。党内の権力争いの中で旧態依然の体質をさらけ出した」

維新の松井一郎代表（大阪市長）は29日、自民党総裁選の結果をこう皮肉ってみせた。2回の投票のいずれも地方票は河野太郎氏が岸田氏を上回ったにもかかわらず、国会議員票で勝敗が決したためだ。

松井氏は新型コロナウイルスワクチンの接種をめぐる、河野氏と電話一本で連絡が取れる間柄。維新内には河野氏の改革手腕への期待がある一方、路線が近いこともあり「河野氏が勝てば、衆院選は戦いにいくくなる」との懸念もあった。

これまで是々非々の立場で自民党政権と対峙（たいじ）してきた維新。ある衆院議員は総裁選で岸田氏優勢との観測が出た今月下旬、松井氏に「ファイティングポーズを取るべきだ」と伝えた。松井氏からは「戦わなアカンな」とのメールが返ってきたという。岸田氏は総裁選で「新自由主義的な政策からの転換」を訴えた。維新の吉村洋文副代表（大阪府知事）は「民間を国がコントロールする発想で、対立軸は明確になった」と強調。ある衆院選候補予定者も「規制改革を目指すのが維新。カラーの違いがはっきりし、『岸田自民』の方が戦いやすい」とほくそ笑んだ。

「是々非々で対峙変わらぬ」 岸田新総裁に維新・松井代表

産経新聞 2021/9/29 20:46

日本維新の会の松井一郎代表（大阪市長）は29日、自民党の岸田文雄新総裁誕生を受け、「これまでも是々非々で政府与党と対峙（たいじ）してきた。それはこれからも変わらない」と述べた。市役所で記者団に答えた。

松井氏は今回の総裁選について、「永田町の派閥論理で、自民党の権力争いの中で旧態依然とした体質をさらけ出した」と指摘。

「昨日時点で派閥の長老たちは（1回目の投票で上位2人が）1票差になることを分かっていたんじゃないの」と皮肉った。その上で、岸田氏が規制緩和や構造改革を進める「新自由主義」からの脱却を公言している点に言及。維新は民間活力の活用をうたっており、「アベノミクスが不十分だった理由は規制緩和に全く手つかずだったところだ。（岸田氏に真意を）党首討論で聞きたい」とした。

自民党総裁選 与野党の受け止めは

NHK 2021年9月29日 18時33分



自民党総裁選について、与野党の反応です。

自民 麻生副総理 「いい方が選ばれたという感じがする」



麻生副総理兼財務大臣は29日夜、財務省内で記者団に対し「岸田氏は党務もやっているし、内政も外政も明るい。総裁選挙を通じて記者会見を見ても総裁の顔になっていると感じた。これからの日本のかじ取りをする立場の総理大臣としていい方が選ばれたという感じがする」と述べました。

一方、麻生派に所属する河野規制改革担当大臣が決選投票で敗れたことについて「選挙をやる以上は勝たなければならないので、負けて非常に残念な思いをしておられると思う。選挙は負けるとしんどいので、いろんな意味でいい経験をされたと思う」と述べました。

自民 二階幹事長「リーダーシップ期待 いかなる立場でも協力」



自民党の二階幹事長は記者団に対し「新しく党首が変わったので、また新鮮な感覚で、党员や国民の隅々に至るまで意見をよく吸収し、しっかりとそれに応えてもらいたい。希望を言えば、迅速にスピード感を持って政策に対応するリーダーシップを期待したい。われわれは全力で、いかなる立場にあろうとも、みんなで協力しあうことを誓いたい」と述べました。

自民 佐藤総務会長「衆院選を乗り切ることを第1に考えて」



自民党の佐藤総務会長は記者団に対し「総裁は自民党のリーダーであり、選挙の顔になるので、岸田新総裁には、国民に分かりやすい発言をお願いしたい。衆議院選挙が迫る中、みんな新総裁に期待しているので、まずは選挙を乗り切ることを第1に考えてほしい」と述べました。

自民 石破元幹事長「残念 党员意向が反映される仕組みを」



河野規制改革担当大臣を支持した石破元幹事長は記者団に対し「自分としてできるかぎりのことをやって結果を出せなかったことは、とても残念だ。これを糧にして、自民党、日本の政治がもっとよくなるよう努力していきたい」と述べました。

また石破氏は、党员票が最も多かった河野氏が決選投票で敗れたことについて「地方の党员の意向と国会議員の意向がずれているのは、決してよいことだとは思わない。できるだけ地方の党员の意向が反映されるような仕組みに変えていくべきではないか」と述べました。

自民 河村元官房長官「自民党に対する評価も上がった」



自民党の河村元官房長官は記者団に対し「候補者4人で戦い、いろいろな角度から議論が交わされたというのは非常によかった

のではないかと。そういう意味では、次の総選挙を考えた時に自民党に対する評価も上がったのではないかと述べました。

また、河村氏が現職として立候補予定の衆議院山口3区から、岸田派に所属する林芳正・元文部科学大臣が立候補を予定していることに関連し「岸田新総裁はあいさつの中で『ノーサイドだ』と話していた。挙党体制をしっかりとつくってもらわないと、党運営というのはなかなか容易ではない。公平な党運営は当然であり、それを期待している。全然心配していない」と述べました。

小泉環境相「完敗に近いという受け止め」



河野規制改革担当大臣を支持した小泉環境大臣は記者団に対し「全力で河野氏を応援して負け、完敗に近いという受け止めだ。敗因はよく分析が必要だが、なかなか国民からは分からない、票や議員の動きがいろいろあったと思う。自民党を変えたいという思いを誰よりも持つ河野氏に最も多くの党员らが投票したので、その声を岸田新総裁にはしっかりと生かしてもらいたい」と述べました。

公明 山口代表「連立政権の合意 速やかに結びたい」



公明党の山口代表は記者団に対し「岸田新総裁の誕生を心からお祝い申し上げる。今後の政治を展望して新役員を決められると思うので自民党の新しい執行部とともに連立政権の合意を速やかに結びたい。この合意が、これから直面する課題や、国民の期待に応えていく重要な基本的方向性を示すものとなる」と述べました。

また、衆議院選挙について「活発な論争を経て選ばれた総裁であり、国民に政治的な関心を引き付ける効果を生んでいる。総裁選挙の勢いと、自民・公明の結束、そして政策実現への期待を示していくことが極めて重要だ。必ず勝利して国民の期待に応えたい」と述べました。

立民 枝野代表「安倍・菅政権とどう違うか説明を」



立憲民主党の枝野代表は記者団に対し「『自民党は変わらない、変わらない』ということを示す結果となった。岸田氏には、自民党の新総裁として『安倍・菅政権』とどう違うのかを説明すべきだ。臨時国会では、十分な日程をとって、予算委員会で一問一答で考えをぶつけ合いたい」と述べました。

共産 志位委員長「安倍・菅直系政治を選んだ」



共産党の志位委員長は記者会見で「自民党が『安倍・菅直系政治』を選んだということだ。岸田新総裁は、9年間におよぶ『安倍・菅政権』の多くの期間を中枢で支えてきており、表紙をかえても政治の中身は変わらない。新型コロナ対応の無為無策や強権政治、腐敗政治で行き詰まった『自公政治』そのものを終わらせる政権交代こそ、いま求められている」と述べました。

維新 松井代表「旧態依然とした体質 さらにけ出した」



日本維新の会の松井代表は記者団に対し「永田町の派閥の論理だ。永田町の常識は世間の非常識で、党内の権力争いの中で、旧態依然とした体質をさらにけ出したということだ」と述べました。

そのうえで「これまでも是々非々で与党・政府と対峙してきたが、これからも変わらない。岸田氏は、『新自由主義からの脱却』と言っているが、今の日本は非常に規制緩和が遅れている。岸田氏の言っていることはよくわからず、党首討論で聞いていきたい」と述べました。

維新 馬場幹事長「是は是、非は非で対応していく」



日本維新の会の馬場幹事長は記者会見で「党員の声を無視して国会議員の理屈で岸田氏が選ばれ、『自民党らしい』結果になった。自民党は地方創生を掲げているが、本当に地方の声が届いているのだろうか。わが党は、岸田内閣が誕生しても今まで通り、是は是、非は非で対応していく。臨時国会では、新型コロナ対応などの議論を深めるため、予算委員会を開催すべきだ」と述べました。

国民 玉木代表「聞く耳を持った総理・総裁に」



国民民主党の玉木代表は記者団に対し「派閥の力学が反映され、安倍前総理大臣の影響が強く表れた。その影響のもとで、岸田氏がどれだけ政治の信頼回復を実現できるのか厳しく見定めたい。のろのろとスピード感のない対応をするようなら、中身が何も変わらない政権だとの批判が早晚出てくる。また、野党の意見も取り入れる、聞く耳を持った総理・総裁になるよう強くお願いしたい」と述べました。

安倍前首相、総裁選で「多くの自民党支持者が戻った」

東京新聞 2021年9月29日 17時09分



投票に臨む安倍晋三前首相＝東京・グランドプリンスホテル新高輪（代表撮影）

自民党の安倍晋三前首相は29日、総裁選で3位に敗れた高市早苗氏の陣営会合で「高市氏を通じ、自民党がどうあるべきかを訴えることができた。はがれかかっていた多くの自民党支持者が自民党の元に戻ってきてくれたのではないかと語った。

安倍氏は高市氏の主張について「確固たる国家観を示しました」と強調。

さらに「高市さん、私たちグループの主張は、他の候補にも私は影響を与えることができたんだろうと思います」とした上で、「今また一体となって、次の衆議院選挙、今度は岸田新総裁のもとに、共に勝ち抜いていこうではありませんか」と結束を呼び掛けた。

「戦う岸田」に地元・広島は期待 「自民党変わらない」の見方も

29 20:38（最終更新 9/29 22:00）



岸田文雄氏が新総裁に決まり、万歳三唱で祝う支援者ら＝広島市中区で2021年9月29日午後3時45分、中島昭浩撮影

29日に投開票された自民党総裁選を制したのは、1年前の総裁選に敗れて辛酸をなめた岸田文雄前政調会長（64）だった。第100代首相に就任する岸田氏に、選挙区のある広島から期待の声が聞かれる一方、識者らは安倍・菅政権路線から脱却してリーダーシップを發揮できるかが今後の課題とみている。

会場となった東京都内のホテル。午後3時過ぎに決選投票の結果が伝えられると、立ち上がった岸田氏は左右を向いて議員たちに頭を下げ、右手を上げて拍手に応えた。その後、壇上に上がると表情を引き締め「私たちは生まれ変わった自民党をしっかりと国民の皆さんに示し、支持を訴えていかなければなりません」と団結を呼びかけた。

同じ頃、広島市のホテルにも拍手が鳴り響いた。自民党広島県関係者や支援者ら約180人が参加した会で、参加者は万歳三唱して岸田総裁誕生を祝った。

衆院議員だった父文武氏と岸田氏の親子2代の秘書として支えてきた細川清貴さん（65）は神妙な面持ちで開票状況を見守り「第1回投票で（先行が予想された河野太郎氏を1票差で抑え）首位となったことがうれしかった」と喜んだ。

安倍晋三前首相の辞任で急ぎ実施された今年の総裁選では、地方票が3候補の中で最も少なかった。岸田氏は自身の公設秘書を務めるようになった長男翔太郎さん（30）に当時、「政治家としての原点に戻る」と告げたという。細川さんは「総裁選敗戦に始まった『ズタボロ』な状態を経験したからこそ、『煮え切らない岸田』から『戦う岸田』に変わることができた。重責を担うこととなるが頑張してほしい」と話した。

岸田氏は1957年生まれ。文武氏が旧通産官僚だった時に赴任した米ニューヨークで小学校低学年時代を過ごした。高校は進学校の私立開成高（東京都荒川区）に進み、東大受験に3年連続で

失敗して早大法学部に進学。卒業後、日本長期信用銀行（当時）勤務や、旧広島 1 区の衆院議員となった文武氏の秘書などを経て、文武氏が 92 年に亡くなった後の 93 年の衆院選に出馬し初当選した。

開成高の同級生で、硬式野球部で二遊間のコンビを組んだ会社役員の間根正裕さん（64）は「高校時代から真面目でひたむきで誠実だった。皆の意見を聞き、努力する姿勢は昔から変わらない」と評する。その上で「国民の声をしっかり聞き、説明責任をきちんと果たす政治ができると思う。パフォーマンスに走ることなく、野球部の時と変わらないスタイルで信頼を築いてほしい」と話した。

広島からは、安倍政権時代の「政治とカネ」の問題を解決するよう求める声も上がる。河井克行元法相と妻案里氏による 2019 年参院選広島選挙区の大規模買収事件を巡り、党本部が案里氏の陣営に投入した 1 億 5000 万円について、党本部は買収の原資ではないと説明した。これに対して、広島県連ナンバー2 の中本隆志・県議会議長は「（河井夫妻側の資料をうのみにしただけで）説明になっていない。岸田先生ならはっきり説明してくれるだろう」と期待した。【賀有勇、中島昭浩、金森崇之、関谷俊介】被団協「核廃絶へ信念を持って」

岸田氏の地元・広島では、原爆の「黒い雨」を浴びた人たちが被爆者認定を求めた訴訟で原告側全面勝訴とした高裁判決が 7 月に確定し、原告以外への救済拡大が課題となっている。

被爆者健康手帳の申請に向けて準備を進める広島市佐伯区の小川泰子さん（80）は「（岸田氏は）広島の人じゃけえ、ええ方に転ぶかな。いつまで生きとれるかわからんです」と一刻も早い救済を願う。

原告の本毛稔さん（81）は「岸田さんはこれまで黒い雨のためには全然動いてくれなかった」と不安を口にした。原告の母体となった「広島県『黒い雨』原爆被害者の会連絡協議会」によると、岸田氏への直接の陳情が実現したことはないという。具体的な救済策を提示していない政府に不満を募らせる本毛さんは「今度こそ早く対応してほしい」と注文を付けた。

日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）代表委員の田中照巳さん（89）は岸田氏の外相時代に「核兵器廃絶への強い意欲が感じられず、期待外れだった」と厳しい目を向け、「総裁選でも積極的な廃絶方針を新たに示していないが、出馬会見での顔つきは今までと違った。信念を持って取り組んでほしい」と期待も語る。核兵器の使用や製造などを全面的に禁止する「核兵器禁止条約」については「広島出身の政治家として国民の声を聞き、せめて締約国会議のオブザーバー参加は実現してほしい」と訴えた。

政治アナリストの伊藤惇夫さん（73）は投票結果から「やっぱり自民党は変わっていない」と感じたという。党員・党友票を最も集めた河野氏の国会議員票は伸びず、派閥の領袖（りょうしゅう）クラスの投票行動に対する影響力が見える結果となった。伊藤さんは「特に安倍前首相の存在感はいまだに強く、党内の権力構造は揺るがなかった。岸田氏の選出は『変化よりも安定』を求めた結果だ」と分析。今後の政権運営は「安倍氏らに借りを作った形なので、安倍・菅政権の路線から直ちに脱却するのは難しい」とみている。【小山美砂、椋田佳代、土江洋範】

自民新総裁に岸田文雄氏 識者が分析した「勝因」と今後の政権 毎日新聞 2021/9/29 20:36（最終更新 9/29 20:36）



自民党の新総裁に選出され、立ち上がって拍

手に応える岸田文雄前政調会長（中央）＝東京都港区で 2021 年 9 月 29 日午後 3 時 4 分、竹内紀臣撮影

菅義偉首相の自民党総裁任期満了に伴う総裁選は 29 日、投票された。岸田文雄前政調会長（64）＝岸田派＝が決選投票で河野太郎行政改革担当相（58）＝麻生派＝を破り、第 27 代総裁に選出された。任期は 2024 年 9 月末までの 3 年。岸田氏は 10 月 4 日召集の臨時国会で第 100 代首相に選ばれ、岸田内閣が発足する。総裁選について 2 人の識者に聞いた。



佐藤信・東京都立大学准教授

佐藤信・東京都立大准教授

勝因は「菅首相不出馬のタイミング」

事前の予想から外れたのは、1 回目の投票で岸田文雄氏が 1 位だったことだ。2012 年の総裁選では、安倍晋三氏が 1 回目の投票で 2 位ながら決選投票で逆転したことで、派閥の力で勝ったに過ぎないという傷を負った。今回は順当な決選投票となり、岸田氏にとっても自民党にとっても正統性を主張しやすい。

勝因は、菅義偉首相の突然の不出馬表明のタイミングだろう。その時点で岸田氏だけが事前に周到な準備をしていた。もう少し前から菅氏の不出馬が分かっていたら他の派閥も候補も準備ができていたし、全く違った総裁選になっていた。

今回の総裁選では、岸田氏が引っ張る形で政策論争が活発化した。コロナ下で遊説などはできなかったが、論争は有意義で、自民党内の多様性が可視化された。その分、有権者にとっては安倍・菅両政権の総括が難しい。前政権との連続性が必ずしもないためだ。野党にとっても攻めにくい状況だろう。

岸田氏は総裁選では独自の政策を提示したが、「しっかり聞いて」「全員野球」を目指している。今後、衆院選で党として打ち出される公約がどのような内容になるか、注視しなければならない。【聞き手・大貫智子】



中島岳志 東京工業大教授＝東京都千代田区で 2018 年 8 月 3 日、梅村直承撮影

中島岳志・東工大教授

見せつけた安倍氏の影響力

注目したいのは安倍晋三前首相の支援を受けた高市早苗氏の得票だ。党員票は74票で得票率は19%だが、国会議員票は114票で30%取っており、党員よりも議員に浸透した。決選投票では1回目に高市氏に投票した「安倍支持票」の多くが岸田票に回った可能性が高く、安倍氏の意向が岸田内閣に強く反映されることになるのではないかと。

衆院選が迫る中、「選挙の顔」を選ぼうとする力学が働くため、河野太郎氏のような、党内基盤は弱い国民的な人気のある人にとってはチャンスの総裁選だった。それでも河野氏が勝てなかったことは、安倍氏の影響力の大きさを見せつけたと思う。

岸田氏が総裁選を通じて打ち出したビジョンやメッセージは、「小さな政府」を志向する安倍政治とは逆だ。良く言えばバランス感覚だが、岸田氏には目の前にいる人にうまく合わせてしまう「日和見主義」的な面もあり、総裁選でも森友問題の再調査などを巡り安倍氏に配慮した発言が目立った。岸田氏には掲げたビジョンがちゃんとできるのか、ということが常に問われることになる。

今後は、リスクを個人化し、権力が国民に一定の社会規範を示すべきだというパターンナ方向に向かう自民と、リスクを社会化し、個人の生き方に権力は介入すべきではないというリベラルな政策を進めていく野党の二極化が進んでいくのではないかと。それが政権の選択肢となる時代になっていくと考える。【聞き手・佐藤慶】

岸田文雄新総裁 自民党の変化、具体的に示して 毎日新聞 2021/9/29 20:44 (最終更新 9/29 20:50)



自民党総裁に当選し、立ち上がり拍手

手に応える岸田文雄前政調会長＝東京都港区で2021年9月29日午後3時3分、梅村直承撮影

つい1カ月前まで衆院選惨敗の影におびえていた自民党は、「本命不在」といわれた総裁選をしたたかに利用し、局面を変えることに成功した。大方の予想を覆し、岸田文雄氏が1回目の投票でトップに立ったことで、同氏の正統性も強まったといえる。しかし、党の顔が変われば、8年9月にわたる安倍・菅政権の負の側面が無条件にリセットされるわけではない。

岸田氏が勝利した背景として、菅内閣の支持率が下落し続けた時期も、自民党の支持率は比較的高いままだったことが挙げられる。総裁選告示後の18日に毎日新聞が実施した世論調査では、同党の支持率は8月の26%から37%に上昇し、立憲民主党など野党は伸びていない。こうした中、外相や党政調会長を歴任した岸田氏の安定感に自民党内の支持が集まった。河野太郎氏は発信力に定評がある半面、時に強引な言動が目立ち、来年夏の参院選への影響を懸念した参院自民党側は敬遠した。

政治信条が違う4人が立候補し、うち2人は女性だったことで政策論争の幅は広がった。各候補は選択的夫婦別姓や教育の機会拡大、年金制度改革など若者を意識した主張にも力を注ぎ、お

株を奪われた野党は危機感を強めている。

新型コロナウイルス禍の中、総裁選につきものの露骨な党内抗争は表面化しなかったが、一皮めくれば派閥の論理が見え隠れした。最大派閥の細田派に影響力を持つ安倍晋三前首相や麻生派会長の麻生太郎副総理兼財務相の支持を期待した岸田氏をはじめ、どの候補も派閥横断で支持を広げる思惑から長期政権の総括には及び腰だった。森友学園への国有地売却、桜を見る会、日本学術会議の会員任命拒否などの問題には今も有権者の厳しい視線が注がれている。安倍氏と菅義偉首相の政治手法に対する評価をもっと正面から語ってほしかった。

岸田氏は29日、「生まれ変わった自民党をしっかりと示し、支持を訴えていかなければならない」と呼びかけた。それならば、まずは党役員と閣僚人事で岸田色を出し、首相就任後の所信表明演説で変化を具体的に説明したうえで、衆院選に臨むべきだ。「国民の声が政治に届かない」という危機感が本物かどうかは、岸田氏の今後の政治姿勢にかかっている。【政治部長・中田卓二】

自民総裁に岸田氏 甘利氏党四役で調整、高市氏も要職 日経新聞 2021年9月29日 21:00 (2021年9月30日 2:55 更新)



自民党総裁のいすに座る岸田新総裁＝29

日、東京・永田町の党本部

自民党は29日投票の総裁選で岸田文雄氏(64)を第27代総裁に選出した。1回目の投票で1位だったが河野太郎氏(58)と1票差で全体の過半数に届かず、上位2人による決選投票で257票を得て勝利した。10月4日召集の臨時国会で菅義偉首相の後継となる第100代首相に指名される見通しだ。

総裁任期は2024年9月までの3年間。党則は任期を1期3年、連続3期9年までと定める。

岸田氏は党役員や閣僚の人事に着手した。週内にも新しい党執行部を始動させる。29日夜には側近で岸田派の木原誠二衆院議員と協議した。10月4日に臨時国会での首相指名選挙を経て新内閣を発足させる。次期衆院選を見据えて挙党態勢を敷く。

幹事長など党四役の人事を巡っては総裁選で岸田氏を支持した甘利明党税制調査会長を起用する調整に入った。総裁選で争った高市早苗氏(60)は要職での処遇を検討する。細田派の萩生田光一文部科学相らを重要ポストで起用する案も浮上している。

岸田氏は29日、党本部で開いた記者会見で人事案について「そう簡単ではない。できるだけ急ぎたい」と述べた。

総裁選の他の候補についても「党内で能力を発揮してもらえるようなことを考えたい」と語った。「中堅・若手の思いきった登用が必要だ」とも強調した。

党役員任期を「1期1年、連続3期まで」とした党改革案に言及し「改革への思いは1ミリたりとも後退していない」と話した。衆院議員は10月21日に任期満了を迎える。岸田氏が所信表明演説と各党の代表質問を終えた後、10月中旬にも衆院を解散して11月前半に次期衆院選を実施する公算が大きい。任期満了後の衆院選は現行憲法下で初めてとなる。

岸田氏は勝敗ラインに関し「目標は与党で過半数」と明言した。政権運営では「丁寧に寛容な政治を行い、国民の一体感を取り戻していく」との意気込みを示した。新型コロナウイルス対策については「すべてをかけて必死に取り組んでいかなければならない」と強調した。記者会見は35分間開いた。

今回の総裁選の1回目の投票は議員票382票と党員・党友票382票の計764票で争った。議員票と党員票のトップはそれぞれ岸田氏と河野氏だった。

岸田氏は議員票146票、党員票110票の計256票を得た。河野氏は86票、169票の計255票で2位。次いで高市氏が114票と74票の計188票、野田聖子氏(61)は34票と29票で計63票だった。

決選投票は1人1票の議員票382票と都道府県連各1票の計429票で競った。岸田氏が257票をとって河野氏の170票を上回った。議員票は1回目、決選投票とも棄権・白票が2票あった。

	1回目投票			決選投票		
	議員 票	党員 票	合計	議員 票	党員 票	合計
岸田文雄	146	110	256	249	8	257
河野太郎	86	169	255	131	39	170
高市早苗	114	74	188			
野田聖子	34	29	63			

(注) 野田聖子、国会議員連は棄権・白票が2票あった

党員も投票に参加する総裁選は3年ぶり。党員の投票率は69%だった。12年総裁選の63%や18年の62%を上回った。党員票の得票率は河野氏がトップの44%。次いで岸田氏は29%、高市氏は19%、野田氏は8%だった。

岸田氏にとって次期衆院選や30日で緊急事態宣言を解除したあとの新型コロナの感染抑止策などが目先の課題となる。

特に総裁選から衆院選までの期間は異例の短さになる。日本経済新聞社の9月下旬の世論調査で自民党の支持率は47%と首相の退陣表明前から8ポイント上昇した。岸田氏は新内閣を選挙を見据えた布陣とし、支持率の復調も生かして衆院選での勝利をめざす。

菅政権の場合、内閣支持率は新型コロナの感染状況が悪化すると下がる連動性がみられた。岸田政権がこれから臨む衆院選と感染拡大の「第6波」の到来が重なれば選挙結果にも影響を与えかねない。

今回の総裁選は首相の9月末の総裁任期満了に伴い17日に告示された。現職総裁の首相が不出馬を表明し、岸田、河野、高市、野田の4氏が首相の後継の座を競った。

党内7派閥のうち岸田派を除く6派閥は支持候補を一本化しなかった。岸田氏は自身が率いる岸田派に加え、最大派閥の細田派や麻生派、竹下派などから幅広く支持を得た。河野氏は所属する麻生派の一部や石破派、二階派の中堅・若手議員らが支持した。

岸田氏ら、辺野古質問に答えず 沖縄戦遺骨の土砂使用巡り

2021/9/29 17:56 (JST)9/29 18:09 (JST)updated 共同通信社



記者会見する遺骨収集の市民団体「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さん＝29日午前、沖縄県庁

沖縄戦の戦没者遺骨がまざる土砂が、米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古移設で埋め立てに使われる恐れがあると訴える遺骨収集の市民団体「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さん(67)は29日、自民党新総裁に選出された岸田文雄氏ら4候補に「土砂問題への対応」を問う公開質問状を送ったが、いずれも期限までに回答がなかったと発表した。

総裁選後の取材に「岸田氏は新首相として戦争犠牲者と遺族に寄り添ってほしい」と注文。先立つ記者会見では「回答すらなくがっかり。戦没者救済の意識を持っていないと思える」と述べた。

質問状は24日を回答期限とし、16日に発送した。

被爆者「政治生命懸け核廃絶を」 岸田氏の地元、広島から注文

2021/9/29 19:36 (JST)9/29 19:53 (JST)updated 共同通信社

岸田文雄自民党新総裁の誕生を受け、地元広島市の被爆者や核廃絶に取り組む若者は、被爆地出身のリーダーとして「政治生命を懸けて核兵器廃絶や平和に力を入れて」と訴えた。核兵器禁止条約への参加や、「黒い雨」被害者救済を求める声も上がった。

「総裁選で、核問題に深く関わろうという発言がなかったのが残念。今後は世界に対して日本の存在を示してほしい」。広島県原爆被害者団体協議会(県被団協)の箕牧智之理事長代行(79)は期待を込めた。もう一つの県被団協の佐久間邦彦理事長(76)は「核禁止条約の締約国会議への参加や、黒い雨被害者の救済を進めてほしい」と求めた。

「黒い雨」救済拡大、具体策を 岸田氏の地元・広島で被爆者が訴え

毎日新聞 2021/9/29 19:06 (最終更新 9/29 19:06)



「黒い雨」の体験者への被爆者健康手帳の交付を求めた訴訟の控訴審判決で、全面勝訴の垂れ幕を掲げる原告団の弁護士＝広島市中区で2021年7月14日午後3時3分、山田尚弘撮影

自民党新総裁に選出された岸田文雄氏の地元・広島では、原爆の「黒い雨」を浴びた人たちが被爆者認定を求めた訴訟で原告側全面勝訴とした広島高裁判決が7月に確定し、原告以外への救済拡大が課題となっている。判決を受け菅義偉首相が救済拡大方針を示したものの具体化には至っておらず、被爆地から誕生した新総裁がどう実現するかに注目が集まる。

「放っておかれた年月が長すぎるの。せめて早く助けてください」。切実な願いを明かしたのは、広島市佐伯区の小川泰子さん(80)。訴訟には加われなかったが、被爆者健康手帳の申請に向けて準備を進めている。肝硬変や胃潰瘍で体調は悪く、新型コロナウイルスによる自粛生活で精神的にも落ち込む毎日だ。「『死んだ方がいい』とさえ思っていた時に、救済の方針が示された。(岸田氏は)広島の人じゃけえ、ええ方に転ぶかな。いつまで生きられるかわからんです」と、一刻も早い救済を願った。

「岸田さんはこれまで、黒い雨のためには、全然動いてくれなかった。今後が心配」。原告の本毛稔さん（81）＝同区＝も不安を口にした。原告の母体となった「広島県『黒い雨』原爆被害者の会連絡協議会」に加わり運動を続けてきたが、会によると、岸田氏への直接の陳情が実現したことはないという。政治判断から2カ月たつが、いまだ具体的な救済策やスケジュールが提示されないことも不満だ。本毛さんは「今度こそ早く対応してほしい」と注文した。【小山美砂】

「被爆国としてリーダーシップを」 長崎の被爆者、岸田氏に期待

毎日新聞 2021/9/29 19:47（最終更新 9/29 19:47）



記者会見する自民党の新総裁に選ばれた岸田文雄前政調会長＝東京都千代田区の同党本部で 2021 年 9 月 29 日午後 6 時 29 分、竹内幹撮影

九州の被爆者や反原発運動に取り組む人たちは岸田新総裁の誕生をどう受け止めるのか。

長崎ではもう一つの被爆地・広島選出の岸田氏に期待と注文の声が上がった。

国が定める援護対象区域の外で被爆したため被爆認定されていない「被爆体験者」で、認定を求めて長崎県、長崎市と係争中の原告団長、山内武さん（78）は「広島の方なので被爆問題は理解しているはずだ」と歓迎した。

区域外住民の救済を巡って、菅義偉首相は 8 月 6 日の広島平和記念式典で救済に言及しながら 3 日後の長崎平和祈念式典では触れず、記者会見で「長崎は訴訟が継続中。行方を注視する」と区別する考えを示していた。山内さんは「岸田さんは司法判断を待たず、長崎でも早期の政治解決をしてほしい。県と市は好機と捉えて国への働きかけを強めるべきだ」と話した。

今年 1 月の発効後も政府が一線を画す核兵器禁止条約について、岸田氏は意義を認めながら核保有国が参加していないことを理由に批准を否定している。長崎の被爆者で原水爆禁止日本国民会議の川野浩一議長（81）は「条約に賛同し、唯一の戦争被爆国としてリーダーシップを取ってほしい。被爆地の声を背負い、安倍・菅政権との違いを打ち出せば求心力につながるはずだ」と期待した。

総裁選では原発政策も争点だった。四国電力伊方原発（愛媛県伊方町）3号機運転差し止め訴訟の原告団共同代表、中山田さつきさん（67）＝大分県杵築市＝は、岸田氏が再生可能エネルギーを重視するとしながら原発再稼働を容認している点を批判。「福島第1原発事故の被害の大きさをきちんと見つめてほしい。再生可能エネルギーを重視するなら原発に金をかけるべきではない。期待していない」と話した。

九州電力玄海原発（佐賀県玄海町）を巡って係争中の佐賀市の市民団体「原発なくそう！九州玄海訴訟原告団」事務局の林田直樹さん（54）は「福島第1原発の事故から10年たっても被災地、被害者は置き去りのままだ。国のトップは現状を変え、より良い社会をつくる責任がある。原発はいらない」と語った。

2024年以降、1、2号機が原則40年の運転期限を迎える九電川内原発（鹿児島県薩摩川内市）の運転延長に反対する市民団体「ストップ川内原発！ 3・11 鹿児島実行委員会」共同代表の向原祥隆さん（64）は「河野さんには脱原発の雰囲気があったが、岸田さんは積極的には見えない。自民党が原発を捨てることはできず、将来的な脱原発を口にしてもまやかしか思えない」と話した。【中山敦貴、河慧琳、高橋広之、白川徹】

1.5 億円問題「岸田総裁が説明すると思う」 地元・広島県議会議長

朝日新聞デジタル大久保貴裕、比嘉展玖 2021 年 9 月 29 日 19 時 38 分



新総裁に選出された岸田文雄氏のあいさつを、プロジェクターの画面を通して聞く広島の支援者ら＝2021 年 9 月 29 日午後 3 時 11 分、広島市中区、上田潤撮影



「国民が納得していない事柄は、岸田総裁本人か官房長官などの責任者が出てきて説明されると思う」。広島県連ナンバー2の中本隆志・県議会議長は 29 日、記者団から岸田文雄・新総裁に求めることを聞かれると、こう力を込めた。

2019 年の参院選広島選挙区をめぐる、自民党本部が河井克行元法相夫妻側に提供した 1 億 5 千万円の問題がくすぶり続ける。これまで党本部は、抛出の経緯や使途に関する詳しい説明を避けてきただけに、広島選出の岸田氏に解明を望む声は多い。

広島では、「政治とカネ」問題への不信から 4 月の参院再選挙で自民候補が敗北、危機感を抱いた県連は党幹部に繰り返し説明を求めたが、まともに取り合われなかった経緯がある。

中本氏は、柴山昌彦・党幹事長代理が先日、河井夫妻が作成した資料を検証することもなく、1 億 5 千万円について「買収資金ではない」などと公表したことを問題視。「説明責任から逃げている。全く話にならない」と現在の党本部の姿勢を批判した。（大久保貴裕、比嘉展玖）

岸田新総裁、森友再調査に否定的 「調査・報告されている」

毎日新聞 2021/9/29 21:15（最終更新 9/29 21:15）



記者会見する自民党の新総裁に選ばれた岸田文雄前政調会長＝東京都千代田区の同党本部で 2021 年 9 月 29 日午後 6 時 29 分、竹内幹撮影

岸田氏は総裁選当選後の記者会見で、財務省の文書改ざんなどに発展した森友学園問題について「政治の立場からしっかり説明していかなければいけない」と語る一方、「行政において調査が行われ報告がしっかりなされている」として再調査について

は否定的だった。

選挙買収で有罪が確定した河井案里氏の陣営に自民党が1億5000万円の資金を提供した問題には「今一度確認し、必要であるならば説明する」と述べた。【関谷俊介】

森友問題「政治の立場で説明」 岸田新総裁

日経新聞 2021年9月29日 21:44



記者会見する自民党の岸田新総裁（29日、自民党本部）

自民党新総裁に選出された岸田文雄氏は29日の記者会見で、学校法人「森友学園」への国有地売却問題に関して説明する必要があるとの考えを示した。

行政の調査や司法の判断を見極めたうえで「国民にそれでもいろいろな意見や思いがあるならば、政治の立場から説明しなければいけない」と述べた。

2019年の参院選広島選挙区での買収事件にも言及した。党本部から河井案里元参院議員の陣営に1億5千万円が渡っていた問題について「必要であるならば説明する」と話した。

青森・六ヶ所村長「安堵」 核燃料サイクル維持の岸田氏に

2021/9/29 18:10 (JST)9/29 18:29 (JST)updated 共同通信社

原発の使用済み核燃料を扱う再処理工場を抱える青森県六ヶ所村の戸田衛村長は29日、自民党の岸田文雄前政調会長の新総裁選出を歓迎した。村内で記者会見し「安堵している。原子力への国民不信は根強く、政府が前面に立って必要性を説明すべきだ」と述べた。

使用済み核燃料を再利用する「核燃料サイクル」を巡り、総裁選では岸田氏が維持を主張したのに対し、決選投票で敗れた河野太郎行政改革担当相は「抜本的見直し」を訴え、争点の一つとなっていた。

戸田氏は総裁選告示後「河野氏の主張を踏まえ、総裁選結果や政府の動向を注視する」と懸念を表明していた。

全国原発協議会長「現実的なエネルギー政策を」 岸田新総裁選出

毎日新聞 2021/9/29 18:35（最終更新 9/29 18:35）



渕上隆信氏＝竹内望撮影

自民党新総裁に岸田文雄氏が選出されたことを受け、原発立地自治体でつくる全国原子力発電所所在市町村協議会（全原協）の会長を務める渕上隆信・福井県敦賀市長は29日、原発の新増設や建て替えに触れ「現実的で力強いエネルギー政策の実行」を求めるコメントを発表した。

コメントでは「国家の根幹にかかわるエネルギーの安定供給や

2050年カーボンニュートラルにおける原子力発電の重要性、核燃料サイクル政策の必要性」を挙げてこうした原発の特徴を「十分に踏まえる」よう求めるとともに、「新増設・リプレースを含めた原子力政策に正面から向き合い、現実的で力強いエネルギー政策を実行していただきたい」とした。

総裁選ではかねて「脱原発」を主張していた河野太郎氏が立候補したこともあり、各候補のエネルギー政策が注目されていた。岸田氏は総裁選で「再生可能エネルギーの一本足打法ではない、原発再稼働などを含む『クリーン・エネルギー戦略』の策定」を掲げていた。【大島秀利】

「当たり前の暮らしを」「世代交代示して」 岸田新総裁へ、街の声

朝日新聞デジタル 武田啓亮 2021年9月29日 22時00分



会見する自民党の岸田文雄新総裁＝2021年9月29日午後6時29分、東京・永田町、内田光撮影



自民党総裁選で岸田文雄氏が新総裁に選ばれた。直後に衆院選が控える中、次の首相になる新たなリーダーをどう受け止め、何を期待するのか。総裁選で投票権のなかった街の人々に尋ねた。

「新型コロナウイルスの収束と、経済の活性化を両立させてもらいたい。さいたま市の会社役員、高林正宏さん（65）は岸田氏にこう期待する。コロナに感染しないよう気を配る一方で、飲食店への休業要請やイベントの自粛で仕事が減った若者の姿に心を痛めてきた。「コロナ対策が経済優先か。意見や世代の相違による対立が生まれてしまった。新総裁には、難局を乗り越えるまとめ役になってほしい」と話した。

東京都杉並区の自営業、鈴木まゆみさん（62）は「格差是正」に期待する。長男と長女はともに飲食業界で働き、コロナ禍の減収をテイクアウトで補ってしのいでいる。自身は宝石の仕立て直して生計を立て、顧客の大半は高齢者だ。若い世代との所得の格差が気になる。「これまでお金持ち優遇の政治が続いてきた。岸田さんが総裁選で掲げた『中間層の復活』という公約を必ず守ってほしい」と注文した。

練馬区の派遣社員板井唯茄（ゆいな）さん（22）は「当たり前の暮らしができる社会にしてほしい」と話す。北海道函館市出身。

「良い仕事が見つかるのでは」と期待して、今春上京したが正社員の働き口はなかなか見つからなかった。月によって仕事にばらつきがあり、収入は不安定で、家賃が払えず、友人の家を転々としている。「普通の人が、普通に暮らせる国にしてくれたらいいな」と願う。

新内閣の顔ぶれに注目する声もあった。千葉市の大学4年生伊東大樹さん（22）は岸田氏が64歳で、菅義偉首相より8歳若いことに、「少しは若者向けの政治をしてくれるのでは」と期待

する。菅内閣は発足時、平均年齢は60・4歳で、首相を除く20人の閣僚のうち女性は2人。大学生活の半分がコロナ禍で終わろうとしている。「大臣がおじいちゃんばかりだと意見が偏ってしまう。若い世代に目を向けた政策がなかった。岸田さんにはもっと若手や女性を閣僚に増やして、世代交代の姿勢を示してほしい」と語った。(武田啓亮)

「冷や飯」の大阪自民安ど 「政権、親維新ではなくなる」

毎日新聞 2021/9/29 20:59 (最終更新 9/29 20:59)



自民党総裁選で党员・党友票の開票作業をする大阪府連の関係者ら＝大阪市中央区で2021年9月29日午前9時35分、望月亮一撮影

野党の日本維新の会は、約9年に及んだ安倍晋三、菅義偉両政権と蜜月関係を築く一方、維新と対立する自民党大阪府連は政権から冷遇されてきた。岸田文雄新総裁の誕生で維新は政権中枢とのパイプが断たれることになり、自民府連には安堵(あんど)感が広がる。維新にとっては2025年大阪・関西万博やカジノを含む統合型リゾート(IR)で国との連携が欠かせず、新政権との関係構築に向けて出方をうかがう構えだ。

「これまでは府連と官邸との風通しが悪く、政権与党の優位性が全くなかった。総裁が代わり、環境の変化に期待している。自民府連の多賀谷俊史幹事長は新総裁誕生を歓迎した。



自民党総裁選の開票作業で集まった大阪府の党员・党友票＝大阪市中央区で2021年9月29日午前9時35分、望月亮一撮影

12年12月に第2次政権を発足させた安倍氏と官房長官だった菅氏は憲法改正で維新の松井一郎代表(大阪市長)と意気投合。橋下徹氏も含めた4人で定期的に会合を持つなど、与野党の立場を超えて太いパイプを持った。万博は安倍、菅両氏の強力なバックアップが誘致実現の決め手となり、菅政権でも良好な関係は続いた。

政権は維新との関係をよそに、身内であるはずの自民府連とは距離があった。府連は、大阪市を廃止・分割する維新の看板政策「大阪都構想」に反対してきたが、都構想への賛否を問う15年と20年の2度の住民投票ではいずれも、党本部から明確な支援は得られなかった。府連幹部は「今までみたいに維新と近い政権ではなくなり、府連にとってプラスであることは間違いない」と期待を寄せる。

松井氏「岸田さん、何やりたいか見えない」

これに対し、松井氏は29日、記者団に「最後は永田町の派閥の論理で決まった。与党や政府とは是非々々で対峙(たいじ)するのは変わらない」と淡々と受け止めた。そのうえで、「岸田さんが何をやりたいのか、今は見えない」と話し、新政権の出方を注視する考えを示す。

維新内部には菅氏の首相退陣に伴い、政権中枢とのパイプが失われることへ危機感が強く、所属国会議員は29日、「当然、影響があるに決まっている」と話した。また、ある維新関係者は「岸田さんになったからといってマイナス面は特にない。これまでプラス面が大きすぎたので、フラット(普通)に戻るだけだ」と懸念を払拭(ふっしょく)した。

間近に迫る衆院選への影響も必至だ。維新と自民は次期衆院選で府内19小選挙区のうち、14選挙区で対決する公算が大きい。

ある自民候補は「不人気だった菅さんが交代し、新しいリーダーの下で選挙を迎えられる。政権が発足すれば、さらに岸田さんの人柄が受け入れられるのでは」と期待する。

一方、維新候補の一人は「河野(太郎)さんが勝っていたら、改革イメージが維新と重なるので岸田さんの方が戦いやすい」と指摘。別の維新候補は「衆院選のために総裁選を利用し、自民の追い風になっている」と警戒した。【石川将来、野田樹、田嶋広景、鶴見泰寿】

「首脳会談で日本の立場伝えて」 拉致被害者家族、岸田氏に求める

毎日新聞 2021/9/29 19:37 (最終更新 9/29 19:37)



自民党総裁選の結果について、受け止めに語る横田早紀江さん＝川崎市川崎区で2021年9月29日午後4時10分、斎藤文太郎撮影

自民党の新総裁に岸田文雄氏が選ばれたことを受け、北朝鮮による拉致被害者の家族からは、問題解決に向け日朝首脳会談の実現を求める声が上がった。

岸田氏は、2014年5月に北朝鮮が再調査を約束した「ストックホルム合意」が締結された時に外相を務めていた。田口八重子さん(行方不明時22歳)の兄で、拉致被害者家族会代表の飯塚繁雄さん(83)は岸田氏について「はっきりしない人だったが、今回は立場が変わる。具体的な計画を示して動いてほしい」と話した。

横田めぐみさん(同13歳)の母早紀江さん(85)は拉致問題の解決を訴え始めてからすでに10人以上首相が交代したとして「情けない。死んでもうらみが残ると思うくらいだ」と焦燥感を募らせた。「首脳同士が話し合うのが一番大事だ。きちんと日本の立場を伝えてほしい」と願った。【斎藤文太郎】

自民党総裁選 国内・各界での受け止めは

NHK2021年9月29日 21時09分



岸田文雄氏が自民党の新しい総裁に選ばれたことについて、国内・各界の受け止めにまとめました。

地元・広島では期待の声



岸田前政務調査会長の地元の広島市では市民から期待の声が相次いで聞かれました。

このうち、50代の会社員の男性は「地元の人だし、誠実で信頼できる人なので選ばれてよかったと思います。政治と金の問題が指摘されているのでクリーンな政治をしてほしいです。また、被爆地・広島からの総裁として、核兵器の廃絶のために日本がしっかりリードするよう取り組んでほしいです」と話していました。50代の女性は「岸田さんに期待しています。新型コロナウイルスの感染拡大で医療従事者の方が一生懸命頑張っているの、感染の収束に向けて努力してほしいです」と話していました。

また、70代の男性は「新型コロナウイルスの感染拡大で経済が低迷しているので経済活性化に努力してほしいです。また、政治と金の問題で不信感があるので、こうした問題をただしてほしいです」と話していました。

銀座 バー経営者「営業を前提にしたコロナ対策を」



東京 銀座のバーの経営者からは、新型コロナウイルスの感染が拡大する場合でも営業を続けられる政策を求める声が上がっていました。

銀座社交料飲協会の事務所では、幹部2人がテレビで自民党総裁選挙の様子を見守りました。



岸田氏が新しい総裁に選出されると、先週、要望活動で岸田氏に面会したという保志雄一会長は「真摯（しんし）に要望などにも耳を傾けてくれそうで、大いに期待できる」と話していました。また、亀島延昌理事長は「最近、感染者数も減り、来月から時短営業ながら営業が再開される見通しとなった。コロナ禍で飲食店は厳しい状況が続いているので、経済的な支援はもちろんだが、今後感染が拡大した場合でも休業を前提とするのではなく、営業を前提にしたコロナ対策などを検討してほしい」と話していました。

小池都知事「課題は山積み 連携を」

東京都の小池知事は都庁で記者団に対し「誠におめでとうございます。岸田氏の誠実な取り組みについてはよく存じ上げており、期待したい」と述べました。

そのうえで「東京都として、日本として、今、抱えている課題はたくさんある。目下のコロナ対策は当然だが、これからの経済の立て直しや成長産業をどのように育てていくのかなど課題は山積みで、首都・東京、そして日本がより活性化していくように連携をとりたい。仲間の1人として本当に頑張っていたいただいと期待を込めて申し上げる」と述べました。

政府の分科会 尾身会長「コロナ対策 強いリーダーシップを」

新型コロナウイルス対策にあたる政府の分科会の尾身茂会長は、NHKの取材に対し「新政権には、ワクチン接種率のさらなる向上や検査体制の拡充に加え、治療薬に素早くアクセスできるような医療体制の強化、さらにQRコードを生かした感染経路の調査や、換気のための二酸化炭素モニターといった科学技術のフル活用など、新型コロナの『総合的対策』を進めるために強いリーダーシップを発揮していただきたい。そうすれば、感染レベルを低く抑えられ、人々が少しずつ日常生活を取り戻すことができるのではないかと考えている」と話しています。

日本商工会議所 三村会頭「成長戦略の追求も同時に」



自民党の新しい総裁が選出されることについて、日本商工会議所の三村会頭は29日の定例会見で「新しい総裁には、新型コロナの出口戦略を明確にしてほしい。これが中小企業への希望になると思う。ワクチン接種の加速や医療体制の充実など、攻めの感染対策にも取り組んでほしいが、コロナばかりではなく、所得格差や経済の安全保障、東京への人口集中など国の課題も解決し、成長戦略を追求することも同時に必要だと思う」と述べ、新しい総裁には、新型コロナウイルスの対策だけでなく、成長戦略やエネルギー問題など中長期的な政策課題にも積極的に取り組んでほしいと求めました。

経団連 十倉会長「われわれの目指す経済社会の考えに近い」
経団連の十倉会長は記者団に対して「岸田新総裁が掲げる『新しい日本型資本主義』は経団連の『持続可能な資本主義』というコンセプトと軌を一にするもので、非常に期待している。成長と分配の考え方や、中間層の所得を手厚くすることなどはわれわれが目指す経済社会の姿に近い」と述べました。

そのうえで、十倉会長は「デジタル化や脱炭素などに向けて、経済界も政府と一緒にあって取り組みたいので、いい関係を築いていきたい。多様性を大事にする社会にあっては対話は非常に大事な点なので、そういう点でも新総裁にふさわしい方だと思っている」として、コロナ禍の克服と日本経済の再生に向けて経済界も一丸となって取り組むと強調しました。

東日本大震災 被災地「復興推進を」



東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県気仙沼市の災害公営住宅では復興を推進するよう求める声が聞かれました。

津波で自宅が全壊した70代の男性は「まじめそうな人なので、よかったと思う。震災から10年がたち、地元の基幹産業の水産業で雇用が創出できるよう支援してほしい」と話していました。同じく自宅を失った70代の男性は「家を再建したかったが、経済的に厳しかった。被災者一人ひとりに手を差し伸べるようなきめ細かい政策を期待する」と話していました。

また、津波で友人を亡くしたという70代の女性は「10年半が過ぎたとはいえ、復興はまだまだ道半ばと思う。新型コロナもあつ

て暮らしが苦しくなった人も大勢いるので、被災地を訪れて現状を見てほしい」と話していました。

広島 被爆者団体「核兵器禁止条約に批准を」



広島県被団協の箕牧智之理事長代行は「広島の総裁として核兵器禁止条約の締約国会議にオブザーバーとして参加し、日本の存在感を示してほしい。いわゆる『黒い雨』を浴びた人への救済については被爆者の立場に立って進めてほしい」と話していました。また、もう 1 つの広島県被団協の佐久間邦彦理事長は「世界の国々の橋渡しをするためにも日本政府の立場を明らかにし、核兵器禁止条約に批准してほしい。いわゆる『黒い雨』を浴びた人の高齢化が進む中、救済の基準を決めて被爆者健康手帳の審査や発行を急いでほしい」と話していました。

拉致被害者家族会 飯塚代表「拉致問題解決の意思表示を」

北朝鮮による拉致被害者の家族会代表で、田口八重子さんの兄の飯塚繁雄さん（83）は「お願いしたいのは拉致被害者全員の帰国です。今まで多くの総理大臣や拉致問題担当大臣が対応してきたが、何の成果もなかった。今度こそ、総理大臣として『私の手で拉致問題を解決する』とはっきり意思表示してほしい。いつ被害者が帰国するのか具体的な計画を示して動いてほしい。とにかく被害者を取り返してほしいと願っています」とコメントしています。

北方領土 元島民「返還に道筋を」

北方領土問題をめぐっては「北方墓参」などの交流事業が新型コロナウイルスの感染拡大を受けて去年に続いてことしもすべて中止になっていて、日ロ間の領土交渉も進展が見られていません。自民党の新しい総裁に岸田前政務調査会長が選出されたことについて、国後島出身の宮谷内亮一さん（78）は「外務大臣の経験を生かし、領土問題を一步でも前進させてほしいと期待している。プーチン大統領との対面による会談を実現させ、元島民が生活している間に島の返還に道筋をつけてほしい」と話していました。

全国知事会長 平井知事「コロナ乗り越える力強い日本を」

全国知事会の会長を務める鳥取県の平井知事は「岸田新総裁は『誰ひとり取り残さないコロナ対策』という全国知事会のテーマにも向き合おうとしている。辣腕（らつわん）を振るってもらって、そのリーダーシップをもとに新型コロナを乗り越えていける力強い日本をつくってもらえればと考えている」と述べました。日本学術会議 執行部の 1 人「任命問題 速やかに解決を」



会員の候補 6 人が菅総理大臣から任命されなかった日本学術会議の執行部の 1 人は「会員の任命権者である内閣総理大臣が交代することになるため、新たな総理大臣には 6 人を任命していただくなど、任命問題を速やかに解決してもらうことを強く望んでいる。岸田氏は総裁選を通じて『人の話を聞く力が誰よりもすぐれている』と強調しているため対話の窓口は開かれていくと期

待している。アカデミアと政治の関係を修復するため学術会議としても協力関係を築くための努力を続けていきたい」と話しています。

経済関係 専門家「中間層の復活を」



雇用政策や所得の格差に詳しい一橋大学経済研究所の小塩隆士教授は「安倍政権や菅政権が進めてきた政策である程度の経済成長を実現した点は評価できるが、その成果が生活の向上に十分に結び付いてこなかった。所得分布は全体として低い方にシフトしていて所得が低い層の厚みが増している。貧困に陥るリスクがより身近なものになり、社会保障というセーフティーネットからはずれてしまう可能性が高くなっている」と指摘しています。そのうえで新しい政権に求められる政策については「一昔前の日本経済は分厚い中間層が形成されていてそれが産業を支えていたが、現在はスリムにそして弱くなっているためこの中間層を復活させる必要がある。そのためには新しい産業の創出など経済成長を促進する政策が必要になると同時に、非正規雇用で働く人などのセーフティーネットの在り方を見直して生活基盤をより強固にする必要がある」と述べています。

政治学 専門家「岸田氏に 4 つの勝因」



政治学が専門で一橋大学の中北浩爾教授は、今回の総裁選について「候補者 4 人のうち半数が女性で、多様な主張を持つ候補者によって争われた充実した総裁選だった。全体として世代交代が進んだのではないかと指摘しました。

そのうえで、岸田氏の勝因について、自民党の中で真ん中に近い政策を意図的に掲げたこと、派閥のリーダーとして安定した政権運営が期待できること、いち早く立候補に名乗りを上げ十分な準備を行っていたこと、課題だったアピール力に磨きをかけたこと、の 4 つを挙げました。

政権運営の課題については「新型コロナウイルス対策は、これまで首相のことばが国民に届いていないという声があり、森友学園や日本学術会議の問題などでは、透明性の確保や説明責任が十分に果たされていないという指摘もあった。安倍政権や菅政権のもとで行き過ぎとも言われた官邸主導をどうしていくのか。岸田氏には多様な民意を吸い上げていくことや、政治家と官僚の適切な役割分担を再構築していくことが求められる」と指摘しました。さらに中北教授は、岸田氏の政権が長期政権になるかどうかは、来年夏までに行われる 2 つの国政選挙の結果にかかっていると分析しています。

中北教授は「2 つの選挙のいずれかで大きくつまずくと、岸田氏が短期政権で終わるだけでなく、一気に政権交代モードに突入する可能性も否定できない。向こう半年間は相当大きな局面で、岸田氏が、国民にアピールするしっかりした政策を作れるか、そのために官邸を中心にチーム力のある陣容を整えられるかが鍵に

なる」と述べました。

岸田新総裁 改憲、皇位継承...保守系との距離感課題

産経新聞 2021/9/30 00:03

自民党総裁選で岸田文雄氏が新たな総裁に選出された。昨年秋の
前回総裁選は菅義偉首相に大敗を喫したが、「闘志」を前面に出
してトップの座をつかんだ。ただ、前途には新型コロナウイルス
対策に加え、新政権の試金石となる衆院選など数々の難題が待ち
受ける。党内の支持基盤も盤石とは言えず、勝利の余韻に浸る間
はなさそうだ。

「さっそく今日から全力で走り始める。ぜひ一緒に走っていただ
きたい」

岸田氏は総裁選で勝利を収めた直後のあいさつに立つと、決意に
満ちた表情で同僚議員にこう語りかけた。岸田氏は8月26日に
いち早く立候補を表明した。前回の経験とスタートダッシュが奏
功し、他の3候補を振り切った。また、5年以上幹事長を続ける
二階俊博氏を念頭に党役員任期の改革案を発表するなど、「地味
な男」から「闘う男」への脱皮も求心力を高める一因になった。
そんな岸田氏の最初の関門は目前に迫る衆院選だ。大幅に議席を
失い「党の顔」に疑問符がつけば、来年夏の参院選に向け「岸田
おろし」を招きかねない。

新型コロナ対策も待ったなしとなる。特別措置法に基づく緊急事
態宣言は30日で全面解除となるが、10月から始まる行動制限
の緩和を着実に進め、社会経済活動を軌道に乗せることが求めら
れる。

ただ、ワクチン接種が進んでいるとはいえ、冬場に向け「第6波」
の到来を予想する専門家は多い。新規感染者数が低水準で推移し
ている間に公約に掲げた「医療難民ゼロ」の実現に向け、臨時医
療施設や宿泊療養施設、医療従事者の確保を急ぐ必要がある。

一方、保守層の信頼が厚い安倍晋三前首相の後押しを受けた高市
早苗前総務相との共闘で決選投票を制した経緯から、保守系が重
視する憲法改正や皇位継承の男系維持などへの取り組みも問わ
れる。

岸田氏は8日の産経新聞のインタビューで、総裁任期中に憲法改
正を目指すことを強調。皇位継承は「『女系天皇』以外の方法で考
えるべきだ」と明言した。安全保障分野では弾道ミサイルを相手領
域内で阻止する「敵基地攻撃能力」の保有を主張し、安倍氏と歩
調を合わせる。

とはいえ、岸田氏はリベラル色が強いとされる岸田派（宏池会）
の領袖（りょうしゅう）。岸田派内には、こうした安保政策に懸
念の声があり、保守勢力が警戒する選択的夫婦別姓への賛成論も
根強い。対応を誤れば総裁選勝利の原動力となった保守勢力が離
れる可能性がある。

岸田氏は周囲に「誰もが長期政権にしたいと思って動き始めるだ
ろう」と語るが、党内第5派閥の岸田派は46人にとどまる。ま
ずは10月24日投開票の参院静岡、山口両選挙区の補欠選挙、
そして11月までに行われる衆院選を勝利に導き、総裁選での訴
えを着実に実現し、支持基盤を盤石にすることが急務となる。あ
る重鎮はこうつぶやいた。

「今はまだ仮免許。衆院選を勝って初めて本免許だ」

（永原慎吾）

自民党新総裁 岸田氏 どんな人？政策は？

NHK2021年9月29日 17時21分

自民党総裁選挙は、決選投票の結果、岸田前政務調査会長が河野
規制改革担当大臣をおさえて新しい総裁に選出されました。

岸田文雄氏は、衆議院広島1区選出の当選9回で、64歳。（昭和
32年7月29日生）。

総裁選挙は、去年の前回に続き、2回目の挑戦です。

同じ広島が地元の池田勇人元総理大臣によって創設されて以来、
大平正芳、鈴木善幸、宮沢喜一と、4人の総理大臣を輩出した派
閥、「宏池会」を率っています。

祖父と父も衆議院議員の政治家一家に育ち、大学卒業後は、旧長
銀＝日本長期信用銀行に入りました。

その後、父親の秘書を経て、平成5年の衆議院選挙で初当選しま
した。

平成19年には、第1次安倍改造内閣で沖縄・北方担当大臣とし
て初入閣しました。

自民党が野党転落後には党の国会対策委員長を務めました。

第2次安倍政権発足後は、4年半余りにわたって外務大臣を務め
ました。連続の在任期間では戦後最長で、この間、当時のアメリ
カのオバマ大統領の被爆地・広島への訪問実現や、慰安婦問題を
めぐる日韓合意などに尽力しました。

平成29年には、党の政務調査会長に就任。新型コロナウイルス
の感染拡大を受けて、事業者の賃料負担を軽減する新たな給付金
の創設などに取り組みました。

かねてから総理大臣を目指し、良好な関係を保ってきた安倍前総
理大臣からの後継指名に活路を見いだす戦略をとってきましたが、
安倍氏辞任に伴う去年の総裁選挙では菅総理大臣に敗れ、要
職から外れました。

8月下旬に立候補を表明した際には、心に残った国民の声を書き
留めてきたというノートを紹介し、みずからの「聞く力」をアピ
ールしました。

座右の銘は「春風接人」（しゅんぷうせつじん）。「春風のような
優しさで人と接する」という意味のとおり柔らかい語り口や誠実
な人柄は誰もが認める一方、「真面目すぎる」との声も聞かれま
す。

一方で、政界随一の酒豪としても知られています。外務大臣時代
にはロシアのラブロフ外相とウォッカを酌み交わし、互角に渡り
合ったというエピソードもあります。

プロ野球は、地元広島カープのファンで好きな食べ物はお好み焼
きだということです。

岸田氏の経済財政政策は

岸田氏は、アベノミクスを評価しつつ、みずからの経済政策につ
いて、新自由主義的な政策からの転換を掲げました。

規制緩和や構造改革などを進める新自由主義的な政策は、経済成
長をもたらしたものの、経済的な格差を生んだとして、成長と分
配の好循環による「新しい日本型資本主義を創る」と訴えてきま
した。

具体的には、

▽科学技術の分野で競争力を高めるため、10兆円規模の基金の
設立や、

▽経済安全保障の担当大臣を設けて、半導体などへの投資の強化、▽それに、高速・大容量の「5G」の通信網を各地に早期に整備するなど地方のデジタル化を促進するなどとしています。

また、「令和版所得倍増」を掲げて分厚い中間層の復活を目指すとして、

▽企業に賃上げを促すための税制措置や、

▽子育て世代の負担軽減のため住居費や教育費への支援の強化、▽さらに、医療や介護、保育といった現場で働く人たちの報酬の引き上げに向けた委員会の設置などに取り組むとしています。

19日、NHKの日曜討論に出演した際に岸田氏は、「利益や効率だけではない新しい日本型の資本主義を進めたい。成長の果実をしっかりと分配し、広く所得を引き上げていくことを考えていかなければならない」と述べました。

また、新型コロナウイルスの経済対策としては、打撃を受けた企業や個人を支援するため、業種や地域を限定せずに事業規模に応じて家賃などを支援することを含め、数十兆円規模の対策を早急に取りまとめる必要があるなどとしています。

このため、当面は、積極的な財政出動で景気を下支えしていく考えを示しています。

一方で、悪化が続く日本の財政状況について、23日に行われた政策討論会では、「財政は国の評価の礎なので、日本の信頼が失われると海外から厳しく批判され、財政が混乱してしまう。財政安定化に向けてどういう考えを持っているのかを示すことが大切だ」と述べ、政府として財政再建の取り組みを明確にする必要性に言及しています。

【会見詳報】自民・岸田新総裁 森友問題の再調査を再び否定「必要なら説明したい」

東京新聞 2021年9月29日 20時40分



岸田文雄氏

自民党の岸田文雄新総裁は29日夜、選出後初めての記者会見に臨んだ。

森友学園問題を巡る財務省の決裁文書改ざんの説明に関して、行政の調査や裁判の結果を踏まえても国民の納得が得られない場合、「政治の立場から、説明が必要であれば、説明させていただきたい」と述べた。ただ、文書改ざんの再調査は「行政において調査が行われ、報告がしっかりとされていると認識している」とし、否定的な姿勢を示した。

安倍、菅政権について「説明しない政治」のどこを見直すかとの質問に対しては、アベノミクスや2050年の温室効果ガス「実質ゼロ」宣言、ワクチン接種の加速を功績としてまず挙げた。

その上で「国民の協力なくして政治の結果を実現することはできない時代だと認識している」と国民への説明の重要性を指摘し、「政治の説明責任を果たすことに取り組む」と述べた。

新型コロナウイルス対策では、国民の心がざらざらにされているという現状認識を示し、「ぜひみんなで頑張ろうという心を取

り戻し、ワンチームとして国難に取り組んでいく雰囲気をつくっていかなくてはいけない」と強調。年内に数十兆円規模の経済政策をつくと訴えた。

幹事長の人事は「今現在、具体的な名前が確定したものではない」と述べるに留めた。他の3人の総裁選候補者の処遇については「素晴らしい能力を持っている。ぜひ党内において能力を発揮していただけるようなことを考えていきたい」と述べた。衆議院の解散は「しかるべき時期を判断したい」とした。

会見での主な質疑応答は次の通り。

Q 総裁選の勝因をどのように考えるか。党員票では河野氏が上回る結果で、国民の理解という点でどのようにお考えか。また、党人事と閣僚人事についてどのような方針で臨むか。

特に党役員任期1期1年3期までとする改革案を打ち出したが、考えに変わりはないか。幹事長ポストの具体的なイメージがある。総裁選を戦ったほかの候補や、支持を受けた派閥や安倍前総理、麻生副総理の処遇をどのようにお考えか。若手女性民間の登用についてもお考えを。

岸田氏 ご質問をいつもいただきました。まず、今回の総裁選挙の勝因は何かという質問に対しましては、やはり国民の皆さんの声を丁寧にしっかりと聞く。丁寧に寛容な政治を進めていく。こうした主張に対しまして、多くのみなさんのご支持をいただいていたと思っています。

そうした政治手法のもとに具体的な、そして仲間で練りに練った政策。これをしっかりと訴えていく。こうした取り組みが少しずつ多くの皆さんにご理解いただき、そしてご支持をいただいていた。この積み重ねこそ勝因であったと受け止めています。

◆人事は早急にたたき台

党員票において、河野候補が私より、大きな票を取られたことについてご質問がありました。総裁選挙は党の規定に従って、ルールに従って多くの関係者の皆さんのコンセンサスのもとに行われたと承知をしています。このルールに基づいて総裁選挙が行われた。その結果この決選投票において、この過半数以上の票を頂いた。こうしたルールに基づいて結果をいただいた。このことは、多くの皆様にもご理解頂けるものであると思っております。

そして、人事についてお話しご質問がありました。人事については早急にたたき台を作り、しっかりと確認をして行きたいと思っています。できるだけ急ぎたいと思いますが、明日一日はやはりかかるのではないかと考えております。いずれにせよ、これは作業をこれから進めますので、努力をした結果だと思っています。

◆自民改革「1ミリたりとも後退していない」

1期1年、連続3期までというこの取り組みについてですが、そうした自民党改革に対する思い、これは1ミリたりともここを後退しておりません。しっかりと自民党改革を行っていきたくと思っています。幹事長、人事についてもご質問いただきましたが、幹事長という役職大変重たい重要な役職だと思っています。今これからしっかりと調整をしたいと思っておりますが、今現在まだ具体的な名前が確定したというものではない。

3人の総裁選候補者についてどう処分するか。それからあと、その他の実力者の人事についてもご質問いただきました。私は、この総裁選挙を通じまして、自民党が多彩な人材を持ち、そして中堅若手の皆様方をしっかりと登用すると申し上げてきました。

若手だけを登用するという意味ではなく、やはり老壮青のバランス、これが大事だということで、現状を考えると、より中堅若手の思い切った登用が必要であると申し上げてきました。ぜひそういった思いで人事に取り組んでいきたいと思ひますし、3人の総裁候補の皆様方も、その他の党の実力者の方々も素晴らしい才能、能力を持っておられます。

特に3人の総裁候補の皆様方は、一緒に政策論争をする中で、その素晴らしさを実感させていただいています。ぜひ党内においてその能力をしっかりと発揮していただけるようなことを考えていきたいと思ひております。

Q 間近に迫る次期衆院選の勝敗ラインは、また、自ら衆院を解散されるお考えがあるのかも含めて併せて。

A 勝敗ラインですが、これは与党で過半数であると思ひています。衆議院選挙、政権選択選挙でありますので、自公政権を選んだけるのか、あるいは野党政権を選ばれるのか、これを決める選挙でありますので、目標は与党で過半数であると思ひています。

解散については、今後国会が開かれます。政治状況もしっかり見極めた上で、総理として、しかるべき時期を判断していきたいと思ひております。

◆「説明しない政治」何を見直すのか

Q 安倍政権とそれを継承した菅政権の8年9か月では、国民の反対があつても、官邸の判断で推進する1強政治ですとか、説明責任を十分に果たさない「説明しない政治」の弊害が数多く指摘されてきました。岸田総理の下では、安倍・菅政治の何を見直して行くのか、改めてお考えをお聞かせください。また、特に安倍・菅政権の負の遺産の象徴とも言える森友学園の文書改ざん問題について、これまでの論戦では再調査について否定していました。

冒頭発言で国民の声が政治に届かないとか、政治の説明が国民の心に響かないという声が溢れていると紹介されていました。先ほどの両院議員総会でも生まれ変わった自民党を国民に示すと決意を述べられていました。過去を清算しないまま新しい自民党、生まれ変わった自民党ということはありえないのではないかと思ひますが、ご所見をお願いいたします。

A 9年近くにわたる安倍菅政権についての評価についてご質問がありました。私は、まず評価という面においても、大きな功績はいくつもあつたと思ひています。まず、アベノミクスという経済政策によって、間違いなく我が国の経済の体制の強化、あるいは成長、これは実現できたと思ひています。

また、菅内閣においても、2050年カーボンニュートラルですとか、デジタル庁の発足、それから何よりもワクチン接種の加速の実績は残されていると評価をしています。

◆政治の立場からしっかりと説明する

一方この説明についてご指摘がありました。説明については、特にコロナ対策と考えます時に、今のさまざまな政治課題、国民の協力なくして、この政治の結果を実現することができない。こういった時代であると認識をしています。そういった点から、説明ということについては、国民の声をしっかりと聞く。さらには、丁寧で寛容な政治を行う。こうしたことを、私も掲げておりますので、国民の皆さんにしっかりと政治の説明責任を果たしてい

く。こうしたことは、しっかりと取り組んでいきたいと思ひます。

そしてその上でモリカケ問題等についてご質問がありました。この問題については、まずこの行政において調査が行われ、そして報告書が出されています。司法において裁判が行われ、そして今、民事の裁判も続けられています。その判断をしっかりと見ていかなければならないと思ひますが、こうした行政あるいは司法における取り組みが行われていたとして、国民の皆さんがそれでも、いろいろなご意見がある思いがあるとしたならば、今度は政治の立場で、しっかりと説明をしていかなければいけない。このように思ひています。

そして、やはりこの問題を通じて、何よりも重要なことは、公文書の管理は行政の基本、そして国民の行政への信頼の根幹であると思ひています。こうした今回指摘されたようなことが2度と起こらないように、公文書管理の適正化、そして再発防止。これはしっかりと政治の責任として行っていかなければいけない、結果を出さなければいけない。こうした課題であると認識しております。

◆河井夫妻の1.5億円、説明妥当か？

Q 政治的な姿勢を改めてお伺ひしたい。先ほど森友問題で、最終的には政治的な立場から説明しないとイケないとおっしゃいましたけれども、再調査をせずして、どういう納得ができる説明ができるのか教えてください。

参院選の広島選挙区で先日、自民党は1.5億円の問題について、河井夫妻が作成した資料をもとに買収に使われていないという説明をしました。ただ、裏付けの資料も示されず、自民党として主体的な調査もされていません。こうした対応について妥当だと考えられますか？で今後党独自の調査をして、また説明をされる考えがありますか？最後に、コロナ禍の中で、国難という中で、総裁のメッセージと非常に大きいと思ひます。その一回目の会見を30分で終わらせることは、これ少なくないですか？

A ええとまずモリカケ問題についてご質問いただきました。私はまず行政において、調査が行われて報告がしっかりとされていると認識しています。そして司法においても、強制捜査権を持つこれ検察、これが捜査が行い、そして裁判が行われ、さらには民事で今裁判が行われています。こうした国の捜査権を持つ組織がしっかりとこの問題について判断をする。

◆「必要であれば説明する」

このことは大変重たいと思ひています。そうした行政司法において、そうした取り組みが行われている。それを前提として、政治の立場から、国民の皆さんにしっかりと寄り添う立場からも説明が必要であれば、私は説明させていただきたいと言うことを申し上げております。

広島のいわゆる河井事件の対応でありますが、あの問題については従来から自民党の総裁、幹事長は裁判で押収されている書類が戻って来たならば、それに基づいて説明するという説明をしていたと記憶しています。書類が戻っていきました。ただ、膨大な書類を今整理をしている。その中で、最終的には総務省に対して、しっかりとした報告書が書類も添付した形で出されるんでありますから、この書類をしっかりとそういった形の説明書をこれ最終的に確認をして、そして説明するということになると、私は認識をしています。

そういった取り組みの中で、今このぐらいの説明がどの時点でどういう説明だったのか？これはちょっと今一度確認をし、必要であるならば説明をするということであると思っています。

◆初会見が30分で十分？

総裁のメッセージは重要である、30分で良いのかとご質問がありました。これはあのご指摘はしっかり受け止めたいと思います。あのできるだけ多くのこのご質問を受けて、この双方向のこの対話をさせていただく。

私も総裁選挙の際に、記者の皆さんの後ろには国民の皆さんがいるんだという意識で出来るだけ時間をとって、確か出馬表明も含めて全部で6時間、記者の皆さんと記者会見という形で意見交換させていただきました。こういった姿勢は大事だと思います。

ただ現実、この総裁、今後の手続きが済んだならば総理という立場になった場合に、全く時間制限なしで対応を続ける。これは現実として難しい部分もあると想像しています。出来る限り、こうした記者の皆さん、さらには国民の皆さんとの双方向のやり取りを大事にさせていただきたいとは思っておりますが、現実の政治日程の中で記者の皆さんにもできるだけ協力していただいて、やり取りも、できるだけコンパクトに、そして効率的に行わさせていただければと願っております。

◆成長の分配の好循環とは

Q 新しい日本型の資本主義を掲げ、分配政策の強化に取り組むと訴えています。分配政策の具体策として、何をいつ実行するのか、そしてその財源はどう捻出するのかについてお考えをお伺いします。また、成長と分配の好循環を主張しておられますが、分配政策の強化がどのように成長に結びつくのが、その好循環の理屈をもう少しご説明いただければ。

人事について明日一日かかるという発言がありました。想定としては明後日の一日金曜日に党内手続きをするとそういう考えなんでしょうか。

A 新しい資本主義経済対策ですが、先ほど申し上げたように経済において成長もちろん大事です。しかし、成長の果実の分配一部の人間に、成長の果実がとどまっている。集中してしまっている。これでは経済の好循環が実現できない。

要は成長の果実できるだけ幅広い皆さんに享受してもらうことが大事であることから、大企業と中小企業の格差、所得においても高所得者層と中所得あるいは低所得の皆さんとの格差、さらには大都市と地方の格差。こうした格差を埋めていかなければいけない。

そして分配。どうやってやるのか？これはまずは民間において、大企業と中小企業の格差、下請け関係等において、適切にこの分配が行われているのか。あるいは1つの企業においても、この成長の果実が株主、あるいは経営者だけではなくして、従業員他適切に分配されているのか、この民間で考えてもらう。そしてそれに加えて、この公的な分配な努力、これも大事である。

◆看護師や介護士の給料、適正にしたい

税制ですとか、中間層が大きな負担になっている教育、あるいは住居費。こうした部分への支援も大事ですが、さらに今回、私が特に総裁選挙で訴えていたのが、公的価格の見直しという部分です。

コロナ禍の中でも大変苦勞されておられる看護師の方とか、介

護士の方、あるいは保護司の方、こうした方々の給料は仕事の大変さに比べて、給料が低いのではないかと、こういった指摘がありました。

ただ、こういった方々の給料は国が決めることができるものです。ぜひこうした従来から働きに比べて給与が少ないといわれている方々の公的価格は国が率先して適正に引き上げることを考えたかどうか。そのことが民間の給与の引き上げにも、呼び水となって広がっていくことができるのではないかと。

財源は、まずは成長なくして分配なしですから。経済の成長、これをしっかりと財源として使っていかなければなりません。先ほど言いました。看護師、介護士、あるいは保育士といった方々の給料を考えても、例えば医療に関する市場は40兆円市場だといわれています。介護の市場は10兆円の市場だといわれています。この市場の中での分配のあり方、そもそも市場自体を、大きくすることもしっかりと考えながら、適正に分配されているかどうか。これを考えるのがこの財源という意味で重要であると思っています。

◆給料・所得引き上げて消費を喚起する

そして、好循環についての理屈は、多くの皆さんの給料所得を引き上げていく。それも一部の方々ではなしに、できるだけ地域や分野に関わらず幅広い方々の給料を引き上げる。そのことによって、経済全体の消費が間違いなく喚起されます。

昭和30年代の所得倍増論、あの時代も、この当時は皆さんが貧しくて格差があまり無い時代でしたが、その中でさらに幅広く所得を喚起することによって、消費を拡大させた。当時の3種の神器、あるいは新3種の神器。電化製品をはじめですね。爆発的な消費を喚起した、ああいった実績があります。ぜひ今の時代においても、幅広い方々の給与を引き上げる。

このことが、ひいては格差を解消することになるわけですが、合わせて幅広い方々の所得が上がる、給与が上がることによって、消費を喚起することになります。で、消費を喚起することになりますと、この供給が企業もそれでは投資をしようではないか。それでは、研究開発をしっかりやろうではないか。こういったことになります。供給側もこうした消費に刺激をされて、経済拡大に取り組んでいく。

だから、分配が次の成長の呼び水になる。こういった好循環、これを実現することができるのではないかと。こんなことから成長と分配の好循環ということを申し上げています。

そして最後に人事についてご質問がありました。人事れから大変重要でありますし、まだ今からたたき台を作り、全体を作り上げていかなければならないということを見ると、そう簡単ではないなということ、あす一日かかるんじゃないかと申し上げました。ただ、具体的にまだこれ着手しておりませんので、実際のどのぐらいかかるか、これはやってみないとわからないとは思っておりますが、できるだけ急ぎだと思っています。

◆多くの声聞く決断を大事に

Q 特技について「人の話をよく聞くことだ」とおっしゃいました。一方で昨日、菅総理は記者会見で、総理としての決断の重みというのを強調しました。総理として決断する力が求められる場面が増えるが、どのような姿勢で臨むか？

A おっしゃるとおり、政治で決断力は大変重要だと思います。

政治が、学術的な意見、評論家的な意見と違うのは、結論を最後出すかどうか。これが政治の違いであると思っています。決断は大変重たいと思います。ただ、決断をするにあたって、いろんな手法があると思います。

トップダウンでいきなり自分のもう結論をこの皆さんに飲んでもらうという決断があれば、丁寧に多くの皆さんの声を聞き、でも最後は自分で決断する。こういった決断の仕方もあります。

ただ、これは場面場面で、どちらでもいいというものではなく、必要な場面で、必要な決断の仕方を判断する。これが政治にとって大事だと思っています。私の場合はできるだけ多くの皆さんの声も聞いた上で決断をする。こういった手法をできるだけ大事にしていきたいと思っています。

おっしゃるように決断するのは政治でありまして、そして総理であると認識をしています。丁寧に寛容な政治、これを進めながらも決断すべき時はしっかりと決断をしていきたいと思っています。

米は長期政権を期待、岸田新総裁 中国、外交姿勢見極める構え 2021/9/29 19:40 (JST)9/29 19:57 (JST)updated 共同通信社

29日、次期首相に就任する見通しとなった自民党の岸田文雄新総裁に、米国は長期政権の構築を期待する。中国は外交姿勢を見極め対応する構えで、台湾は岸田氏の中国への対抗姿勢に好意的だ。韓国では日韓関係改善への期待値は低い。

中国との競争を見据えるバイデン米政権にとって、インド太平洋地域の同盟国日本との連携は重要度を増している。首相が1年ごとに交代するような不安定な状況に再び陥ることへの懸念は強い。戦略国際問題研究所(CSIS)のマイケル・グリーン上級副所長は、決断力ある指導者を求める国民から岸田氏が支持を得られるかどうか課題だと指摘した。(共同)

米、外交継続に安心感 台湾、経済政策を重視—自民総裁選 時事通信 2021年09月29日15時28分



ケリー米務長官と握手する岸田文雄外相(右)

(いずれも当時) = 2016年9月、ニューヨーク (AFP時事)

【ワシントン時事】自民党新総裁に岸田文雄前政調会長が選出されたことを受け、米政府関係者らの間には日米同盟を基軸に据えた安倍、菅両政権の外交政策が継承されると一定の安心感が広がっている。一方、覇権を強める中国と対峙(たいじ)する上で、同盟国の日本がいかに安定政権を維持できるかが最大の関心事となっている。

米国では、菅義偉首相が1年で交代を迫られたことで日本政治の不安定化に対する懸念が再燃している。米政府関係者は「首相が『回転ずし』のようにくるくる代わるのは悪夢だ」と吐露。カーネギー国際平和財団のジェームズ・ショフ上級研究員は、岸田氏が主要派閥の支持を得ているものの、「河野太郎規制改革担当相の支持者が岸田氏を支えるとは限らない」と懸念を示した。

「民主主義対専制主義」を掲げるバイデン大統領は、対中国で同盟国との協力を重視。日米外交筋は「台湾有事を想定した日米

の連携強化は重要な課題だ」と指摘し、日本の役割拡大に期待を示した。外相経験のある岸田氏に「冷え切った日韓関係の改善に踏み切ってほしい」とも語った。

一方、ショフ氏は「米政府は日本が経済的に強くなることを求めている」と分析。菅氏が推進したデジタル改革や、新たな在留資格「特定技能」制度による外国人労働者の受け入れなど、日本の生産性と競争力を高める経済政策を岸田氏が継続するかを注視していると述べた。

同盟深化など課題山積 対中韓で苦慮も—岸田新総裁 時事通信 2021年09月29日21時21分



ケリー米務長官(当時)に案内される外相当時の岸田文雄氏(左) = 2014年2月、米ワシントン (AFP時事)

自民党総裁に選出された岸田文雄氏は第2次安倍政権で4年半外相を務めており、日米同盟を基軸とした外交を推し進める考えだ。ただ、中国の台頭など新たな安全保障環境に対して日米同盟をどう深化させるかや、近隣諸国との関係立て直しなど課題は多い。

岸田氏は首相就任後、速やかにバイデン米大統領との会談を調整する。10月末にイタリアで開かれる20カ国・地域(G20)首脳会議が最初の機会になる見通し。

日米関係は、菅政権の下で安全保障、経済・技術、気候変動などの協力を一層発展させることで合意した。ただ、対中国シフトを加速させる米国が安保面で日本に一層の努力を求めるのは確実。台湾有事での協力や、米軍が検討する地上発射型ミサイルの日本配備をめぐる、国内の議論は深まっていない。

日韓関係も対応に苦慮しそうだ。外相として主導した慰安婦問題に関する日韓合意はその後、韓国にほごにされた。元徴用工訴訟をめぐることも、韓国の地方裁判所が資産売却命令を出し、さらなる関係悪化への危機感が募る。

岸田氏は総裁選で、中国を念頭に人権問題担当補佐官の新設などを掲げた。保守派の支持取り付けを意識したとみられる。来年は日中国交正常化50年。先送りした習近平国家主席の国賓来日への対応が問われる。

弾道ミサイル発射など挑発を続ける北朝鮮への対応も待たない。総裁選で言及した敵基地攻撃能力の保有など防衛体制の見直しも迫られる。中国と台湾が加入申請した環太平洋連携協定(TPP)など、地域のルール・秩序づくりをどう主導するかも課題だ。

「バイデン氏は次期首相との協力心待ち」 米高官、岸田総裁選出で

毎日新聞 2021/9/30 01:11 (最終更新 9/30 01:12)



バイデン米大統領 = 米西部カリフォルニア州で2021年9月13日、AP

米政府高官は29日、自民党の新総裁に岸田文雄前政調会長が選出されたことについて「総裁選の結果は承知している。バイデン米大統領は日米の連携を強化していくため、日本の次期首相と協力していくことを心待ちにしている」との談話を出した。

政府高官は「来週、国会で新しい首相が正式に選ばれると承知している。日米同盟はインド太平洋地域や世界の平和と安全、繁栄の礎石であり、米国は同盟関係を非常に重視している」と述べた。【ワシントン秋山信一】

岸田氏に安定求めるバイデン米政権 中国との戦略的競争見据え

毎日新聞 2021/9/29 15:31 (最終更新 9/29 15:31)



バイデン米大統領

岸田文雄前自民党政調会長が29日に自民党総裁に選ばれたことを受け、米政府が日本の次期政権に望むのは、政治的な安定だ。中国との戦略的競争を見据えると、頻繁な政権交代によって同盟強化が影響される事態は避けたい考えで、岸田氏にも政権基盤を固めることを期待している。

バイデン政権はインド太平洋地域を「優先的な地域」と位置づけ、日本との関係強化も重視している。安倍政権で4年8カ月にわたり外相を務めた岸田氏は、2015年の日米防衛協力指針(ガイドライン)改定などに携わり、バイデン大統領やブリンケン国務長官ともオバマ政権時代に交流がある。「外交の世界では知られた顔」(米政府関係者)で、外交の継続性という点でも不安は少ない。バイデン氏とは核軍縮への思いも共有する。



自民党総裁に当選し、立ち上がり拍手に応える岸田文雄前政調会長＝東京都港区で2021年9月29日午後3時3分、梅村直承撮影

ただ、菅政権が約1年しか続かなかったことで、米側には短命政権が続いた06～12年の苦い記憶もよみがえっている。バイデン政権には、オバマ政権初期に米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移設計画などを巡る日米関係の迷走を経験した高官も多い。

バイデン政権は1月の発足以降、日豪印との4カ国(クアッド)協力や英豪との安全保障枠組み「AUKUS(オーカス)」など、中国に対抗する枠組みを整えてきた。経済安保や軍事、インフラ整備などで政策の具体化を図っていく時期だけに、重要なパートナーである日本の政権が安定し、協力を深めることを期待している。【ワシントン秋山信一】

日米連携強化を警戒 人権問題で反発—中国

時事通信 2021年09月29日18時07分



中国の李克強首相(左)と握手する自民党政調会長

当時の岸田文雄氏＝2018年5月、東京都千代田区

【北京時事】中国外務省の華春瑩報道局長は29日の記者会見で、岸田文雄・自民党新総裁の選出について「日本の新政権と各分野で実務的な協力を深めたい」と述べた。中国は、岸田氏が米国と連携して対中強硬路線を取ることを警戒。共産党機関紙・人民日報系の環球時報電子版は「新内閣の外交政策は基本的に変わらないだろうが、主体的に中日関係を改善する機会を探るべきだ」という見解を伝えた。

岸田氏は総裁選で、中国を意識した外交安全保障政策を訴えた。特に中国をいら立たせているのが、少数民族ウイグル族への人権侵害などに対処する人権問題担当首相補佐官の設置。中国外務省の趙立堅副報道局長は14日の記者会見で「中国内政への外部勢力の干渉は許さない」と反発した。

岸田氏は親中派の代表格とされる二階俊博幹事長の再任を否定。総裁選の決選投票では、中国に明確に厳しい姿勢を打ち出した高市早苗前総務相の支持票が岸田氏に回ったもようだ。このため、中国では「安全保障面で両国関係は良くならない」(国際関係専門家)という予想が出ている。

ただ、岸田氏が率いる岸田派は伝統的に中国との関係を重視する政治家が多い。来年2月に北京冬季五輪を控え習近平指導部は対日関係を重視しており、岸田内閣の顔触れも踏まえて対日政策を組み立てるとみられる。

中国メディアが速報「捲土重来果たした」 岸田氏新総裁選出

国際毎日新聞 2021/9/29 16:59 (最終更新 9/29 19:05)



自民党総裁選を終え壇上で菅義偉首相(左)に花束を渡した岸田文雄前政調会長＝東京都港区で2021年9月29日午後3時22分、梅村直承撮影

岸田文雄前政調会長が29日に自民党総裁に選出されたことを受け、中国メディアは「捲土(けんど)重来を果たした」などと次々と速報で伝えた。

中国共産党機関紙・人民日報系の環球時報(電子版)は29日、「中国は日米同盟に反対したことは一度もないが、日本は日米同盟の枠組みの中で中日関係の改善を積極的に模索すべきだ」とする外交関係の専門家のコメントを掲載。新政権下での両国関係の改善に期待を示した。

一方、中国国内では岸田氏が首相に就いた後も両国関係に大きな変化は訪れないとの見方が強い。今回の総裁選で岸田氏は、中国との対話の重要性は示しつつも「価値を共有する国々と連携し、中国に大国としての振る舞いを求めていく」と主張。中国を念頭ににした人権問題担当の首相補佐官の設置も表明するなど、中国を強く意識したスタンスを示している。中国の国営メディアの関係者は「岸田氏は外相時代に中日関係を安定させようとしていたが、最近の言動を見ると強硬路線だ。結局、誰が首相になっても中日関係に大きな変化はないだろう」との見方を示す。

中国外務省の華春瑩報道局長は29日の記者会見で「中国は日本の新たな与党とともに(過去に日中間で合意した)『四つの政治文書』に定められた原則と精神を順守し、さまざまな分野での実践的な協力を深め、正しい方向での中日関係の発展を促進する

用意がある」と述べた。

ただ総裁選に関するコメントはこの一言にとどめており、岸田氏が今後、どのような対中姿勢を示すのかを見極めたいとの判断があるようだ。【北京・岡崎英遠】

中国、岸田氏勝利に「安定的な発展望む」

産経新聞 2021/9/29 19:36

【北京＝三塚聖平】岸田文雄氏が自民党総裁に選出されたことについて、中国外務省の華春瑩（か・しゅんえい）報道官は29日の記者会見で「それぞれの分野で実務的な協力を深め、中日関係を正しい軌道に沿って健全で安定した発展へと押し進めたい」と述べた。

菅義偉政権下で日本が米国と対中圧力を強めていることに習近平政権は反発しており、岸田氏との間で日中関係の仕切り直しを図りたい考えとみられる。

中国メディアは岸田氏の勝利から間を置かず速報しており、日本の次期政権に対する関心の高さがうかがわれる。中国共産党機関紙、人民日報系の環球時報（電子版）は29日、岸田氏について「本来はハト派だ」とし、「政権を握れば、必ずしも極端な右翼路線はとらないだろう」という識者の見方を紹介した。

関係改善、見込み薄 対話活性化には期待—韓国

時事通信 2021年09月29日 21時08分



韓国の尹炳世外相（当時）と握手する外相当時の岸田文雄氏（左）＝2015年12月28日、韓国ソウル（AFP時事）

【ソウル時事】自民党新総裁に岸田文雄前政調会長が選出されたことについて、韓国では元徴用工問題などで極度に悪化した日韓関係の大きな変化は見込めないという見方が大勢だ。ただ、自民党ハト派とされる「宏池会」を率い、外相として日韓慰安婦合意をまとめた当事者。菅義偉政権では実現しなかった日韓首脳会談など対話活性化への期待も出ている。

陳昌洙・世宗研究所日本センター長は岸田氏について「韓国をよく知っている」と評価。「菅首相と違いコンセンサス重視の政治スタイルで、聞く耳を持っているように見える。日韓間の意思疎通がしやすくなるのでは」と指摘した。

同時に陳氏は「来夏の参院選で勝って本格政権を築くには、経済や新型コロナウイルス対策が最重要。自民党内で対韓強硬論が強い中、日韓関係改善の優先順位は低いのではないかと語った。

聯合ニュースは岸田氏勝利を「緊急」速報で報道。「民意より派閥と党内力学」が決めた手だったと伝え、「安倍晋三前首相の路線から大きく外れない」との見方を示した。

韓国メディア「慰安婦合意の岸田氏」と速報 自民党新総裁に選出

毎日新聞 2021/9/29 15:30（最終更新 9/29 17:07）



岸田文雄氏＝東京都千代田区で2021年2月4日、吉田航

太撮影

岸田文雄前政調会長が自民党総裁に選出されたことについて、韓国メディアは29日、「日本の新首相に慰安婦合意を主導した岸田氏」（保守系の朝鮮日報）などと一斉に速報した。一方で徴用工や慰安婦などの歴史問題で冷え込む日韓関係は変わらないとの見方が大勢となっている。

青瓦台（大統領府）の関係者は岸田氏の自民党総裁選出を受けて、「韓国政府は、新たに発足する内閣と韓日間の未来志向的な関係の発展のため、引き続き協力していく」と述べた。

多くのメディアが、安倍政権下で外相を務めていた岸田氏が、慰安婦を巡る2015年の日韓合意に深く関わったことを紹介した。聯合ニュースは「ソフトパワーを活用した外交政策を擁護するなど保守・右派傾向が強い自民党では穏健派に分類される」と論評。しかし、安倍、菅の両政権の路線を継承すると見られていることや、新型コロナウイルス対策や衆院選を通じた政権の安定が優先課題となっているとして、「韓日関係への大きな変化はすぐには期待できない」と指摘した。【ソウル坂口裕彦】

韓国メディア、岸田新総裁に期待と不安交錯

産経新聞 2021/9/29 17:48 時吉 達也

【ソウル＝時吉達也】韓国メディアは29日午後、自民党の岸田文雄前政調会長が新総裁に選出されたことをトップニュースとして速報した。2015年の日韓慰安婦合意当時の外相だったことを中心に岸田氏を紹介し、日韓関係の改善に向けては「期待と警戒」が交錯する反応を示した。

聯合ニュースは、岸田氏が自民党内で「韓日関係を重視する『ハト派』に分類される」と紹介。現政権などに比べ、「（日韓）関係改善に向けてより誠意ある接近をする可能性がある」との韓国専門家の分析を伝えた。

その上で、日韓合意に基づき設立された財団を韓国側が一方的に解散するなどした経緯から「（岸田氏には）自らが労力をかけた合意を履行しない韓国政府への不満もうかがえる」と指摘。自民党長期政権体制では首相の交代だけで大きな変化が起きることは考えづらいことも踏まえ、「冷え込んだ両国関係に劇的な変化を期待するのは難しいとみられる」と結論付けた。

これに対し、朝鮮日報は岸田氏がアジア外交を重視する自民党派閥「宏池会」の系譜に連なると紹介。今秋の衆議院選挙などに勝利し政権運営が安定すれば「将来的に韓日関係の改善も期待できる」とした。

中央日報は選挙戦前の世論調査で、岸田氏の支持率が河野太郎ワクチン担当相、石破茂元幹事長に次ぐ3位だった点に着目。『「国民が望む首相」ではなく、『国会議員が望む首相』が選ばれた』と論評した。

外相経験持つ岸田氏の出方注目 関係進展は期待薄—ロシア

時事通信 2021年09月29日 20時56分



ロシアのラブロフ外相と会談を前に握手する当時の岸田文雄外相（右）＝2017年3月20日、東京都港区

【モスクワ時事】ロシアのプーチン政権は、自民党総裁選で選出された岸田文雄氏が外相経験を持ち、対ロ外交に関わった実績もあることから出方を注目している。ただ、対ロ外交に熱心だった安倍晋三前首相のような路線は望めないと冷静に見る向きもある。

日米連携強化を警戒 人権問題で反発—中国

日本政治に詳しいモスクワ国際関係大学のウラジーミル・ネリドフ講師は最近の論考で、次期衆院選で自民党の勝利はほぼ確実としつつ、「誰が自民党総裁、首相になっても（衆院選）勝利に必要な約束や秘密裏の取引に縛られることになる」と解説。長期政権を維持し、権力基盤が強固だった安倍氏と異なり、次期首相が対ロ関係を含む外交分野で「劇的なイニシアチブを發揮するだけの政治的資本を持つとは考えにくい」と分析した。

ネリドフ氏は、安倍前政権の終盤で日ロ対話は勢いを失い、菅政権では「停滞感が増すばかりだった」と指摘。「この状況は新たな首相が就任しても変わらないだろう」と予想した。新型コロナウイルスの影響もあり、プーチン大統領と菅義偉首相の対面会談は実現しなかった。

ロシアメディアも岸田氏の新総裁選出を速報 外相として対露交渉

毎日新聞 2021/9/29 16:36 (最終更新 9/29 21:54)



壇上で菅義偉首相（左）に花束を渡し、手を取って拍手にこたえる岸田文雄前政調会長＝東京都港区で2021年9月29日午後3時22分、梅村直承撮影

ロシアのメディアは29日、岸田文雄前政調会長の自民党総裁への選出を相次いで速報した。岸田氏は第2次安倍政権で4年8カ月にわたり外相を務め、対露交渉に当たったことも紹介された。岸田氏はプーチン大統領と会談したこともあり、ロシアのラブロフ外相も23日の日露外相会談で、岸田氏のことを河野太郎行政改革担当相とともに「昔の同僚」と呼び、「よろしく伝えてほしい」と頼んだ。

ただ、ロシアのパノフ元駐日大使はインタファクス通信の取材に、総裁選でロシアについて特筆すべき発言がなかったことなどを挙げ、「岸田氏から対露関係で何かのイニシアチブを期待すべきではない。日露関係はなごの状態にあり、この状況はしばらく続く」と指摘する。

プーチン政権は北方領土について「第二次世界大戦の結果、ソ連と後のロシアに主権が移った」との立場を譲る様子はなく、停滞する日露交渉に打開策は見えない。プーチン氏の側近のパトルシェフ安全保障会議書記は28日、訪問先の極東サハリンで「日本が歴史を書き換えようとしても、歴史の記憶はアジア太平洋地域の国民の間で永遠に残り続ける」と指摘。ソ連軍の不法占拠を訴える日本の立場をけん制しており、岸田氏は対露交渉で難しいかじ取りを迫られそうだ。【モスクワ前谷宏】

岸田氏「人気者破った」「外交、菅政権と一致」 豪・東南アの反応



自民党の新総裁に選出され、立ち上がって拍手にこたえる岸田文雄前政調会長（中央）＝東京都港区で2021年9月29日午後3時4分、竹内紀臣撮影

岸田文雄前政調会長が29日に自民党総裁に選出されたことを受け、シンガポールのテレビ局CNAは岸田氏が「世界第3位の経済大国の次期首相になる道を歩み始めた」と報道。「柔らかな語り口の中道政治家が、接戦の末に人気の河野太郎氏を破った」と伝えている。

オーストラリアのシンクタンクは自民党総裁選に関連して、岸田氏を「外相経験者でオーストラリアでもよく知られている」と紹介。「他候補者よりもタカ派ではないとみられるが、日本のインド太平洋戦略の維持と、地域の環境に適応するために防衛力強化の重要性を強調している」と指摘していた。

地元紙シドニー・モーニング・ヘラルドは29日、総裁選で岸田氏が選出されたことを報じ「日本の対外関係にはほとんど影響を与えないと予想され、中国や米国への立場は菅政権と一致している」と述べた。【バンコク高木香奈】

岸田新総裁「手堅い」「変化ない」 独仏、新政権とも連携強化

毎日新聞 2021/9/29 21:35 (最終更新 9/29 21:38)



自民党の総裁室の椅子に座る岸田文雄前政調会長＝東京都千代田区の同党本部で2021年9月29日午後6時47分、竹内幹撮影

岸田文雄前政調会長が29日に自民党総裁に選出されたことに関連し、仏AFP通信は岸田氏について「カリスマに欠けると評されることもあるが、手堅い人物とみられている」と紹介。ドイツメディアは「大きな政策の変化はなさそうだ」と報じるなど、各国は岸田氏が自民党総裁に選出されたことを「穏当な結果」と受け止めているようだ。

フランスやドイツなど欧州連合（EU）各国は、日本をインド太平洋地域への関与を強めるうえでの重要なパートナーとして捉えており、新政権とも引き続き連携強化を図るとみられる。

EUは9月中旬、中国をにらんだ初の「インド太平洋戦略」を発表したばかり。経済面や地政学上でアジアの重要度が増すなか、民主主義や法の支配などの価値観を共有する日本との協力を重視している。【ブリュッセル岩佐淳士】

自民党総裁選 海外の反応は

NHK2021年9月29日 19時02分



自民党総裁選について、海外の反応です。

海外メディア 相次いで速報で伝える

自民党の新しい総裁に岸田氏が選ばれたことについて、海外のメディアも相次いで速報で伝えました。

アメリカの有力紙、ウォール・ストリート・ジャーナルの電子版は「岸田氏は前任者たちと同様、強固な日米同盟を支持し、中国の軍事的拡大に懸念を示している」としたうえで「戦後日本によくいた控えめなタイプの指導者で、テレビでのカリスマ性や刺激的な政策ではなく、党内の長老たちからの支持を集めて頂点に上りつめた」と伝えました。

イギリスの公共放送 BBC は、岸田氏の最初の使命は自民党を次の総選挙で勝利に導くことだとしたうえで「パンデミック後の景気回復や北朝鮮の脅威への対応など、さまざまな難しい課題に直面している」と指摘しています。

フランスの AFP 通信は、岸田氏について「信頼できると広く認識されているが、カリスマ性に欠けると言われることもあるほど地味な人物だ」と紹介しています。

中国共産党系メディアの「環球時報」の電子版は、複数の専門家の見方として「新たな内閣の外交政策は本質的に変わることはないだろうが、米中の駆け引きが続く中、日本は中国との関係を改善させ『安定した道』を模索すべきだ」とか「岸田氏は選挙期間中、中国を威圧するような発言を頻繁にしていたが、もともとはハト派だ。こうした発言は選挙戦略で、就任後は極端な路線をとるとは限らない」などと伝えています。

韓国の通信社・連合ニュースは、岸田氏が慰安婦問題をめぐる2015年の日韓合意のときに外務大臣を務めていたことから「『慰安婦合意』の岸田氏」が選出されたことと速報で伝えました。

そして「韓国との安保協力などの重要性を強調してきた人物でもあり、日韓の懸案解決のために対話に積極的に乗り出すか注目される」と伝えた一方で「新型コロナウイルス対策や次の総選挙などを通じた政権の安定が優先課題になる状況で、両国関係に直ちに大きな変化を期待するのは容易ではない」という見方も伝えました。

中国外務省 報道官「両国関係 正しい方向に発展を」



中国外務省の華春瑩報道官は29日の記者会見で「中国は、日本の新しい政権を担う人たちとともに、両国間の4つの政治文書の原則と精神を守って、さまざまな分野における協力を深め、両国関係を正しい方向に発展させていきたい」と述べ、1972年の国交正常化以降、両国間で取りまとめた合意文書に基づいて、日本との関係を安定的に発展させたいという考えを示しました。

韓国外務省「未来志向的関係の発展のため 引き続き協力」



韓国外務省は「新たに発足することになる日本の内閣と、両国間の未来志向的関係の発展のために引き続き協力していく」という

コメントを出しました。

台湾 外交部「実のある協力関係 引き続き推進を期待」



台湾の外交部は「心からお祝いする。自民党が岸田総裁の指導のもと、台湾と日本の全面的で友好的な実のある協力関係を引き続き推進するよう期待する」というコメントを発表しました。

また、台湾の与党・民進党は、蔡英文総統が党のトップの名義で岸田氏の当選に祝意を表したことを明らかにしました。

経団連会長、新総裁に「社会経済の活性化を」

産経新聞 2021/9/29 19:39

経団連の十倉雅和会長は29日、報道陣の取材に応じ、自民党新総裁に岸田文雄氏が選出されたことについて「社会経済の活性化に向けた政策をしっかりとお願いしたい」と述べた。

十倉氏は16日に会談した岸田氏について、「非常に人格者というか、人の話をよく聞かれる方」と印象を説明。主張内容についても「新しい日本型資本主義の構築を訴えているが、サステナブル（持続可能）な資本主義を掲げる経団連と軌を一にするもの」と評価した。また「一番大事なものはエネルギー政策で、原子力発電は必要不可欠」とし、岸田氏が選挙戦で研究開発段階の核融合発電について触れたことが「何よりうれしかった」と話した。この日は、日本商工会議所の三村明夫会頭も「持続可能な成長の実現は必要不可欠。そのための中長期の道筋、ビジョンを明確に描き、その実現に歩を進めていただきたい」とのコメントを発表した。（井田通人）

コロナ禍対策、社会課題解決を 自民新総裁に注文一日商會頭

時事通信 2021年09月29日16時29分



日本商工会議所の三村明夫会頭＝15日、東京都千代田区

日本商工会議所の三村明夫会頭は29日、定例記者会見を開いた。自民党新総裁に望む政策として、新型コロナウイルス感染拡大に伴う人出抑制で打撃を受けた宿泊・飲食業などへの緊急支援やコロナ禍対策からの出口戦略の明示、感染拡大で浮き彫りとなった社会課題の解決の三つを挙げた。

三村氏は「コロナからの回復が最優先だが、そこに全てのエネルギーを注ぐのではなく、将来の日本のあるべき姿を追求していただきたい」と強調。具体的には所得格差や医療体制の拡充、産業の安全保障への対応を求めた。脱炭素政策では実現にかかるコストが不明確な上、「誰が負担するのか明確でない」と指摘。「コストを抑えるには原発の位置付けを明確にしないとイケない」との考えも示した。

経済界「ほっとした」 原発、中国…岸田氏の「安定感」に期待

毎日新聞 2021/9/29 20:04（最終更新 9/29 20:04）



記者団の質問に答える経団連の十倉雅和会長＝東京都千代田区で2021年9月29日、山口敦雄撮影

自民党新総裁に29日、岸田文雄前政調会長が選出されたことを受け、経済界や省庁では岸田氏の「安定感」への期待が広がった。一方で、菅義偉政権が果たせなかった新型コロナウイルス対策と経済回復の両立が実現できるのか、実行力にも注目が集まる。

「(岸田氏には)安心感がある。ほっとした」。ある財界関係者は、総裁選の結果に胸をなで下ろした。経済界は、事業活動の基盤となるエネルギーの安定供給には原発活用が必須との立場で、「河野氏(太郎規制改革担当)の再生可能エネルギー一辺倒の主張は現実的ではない」との懸念が絶えなかったからだ。

電力業界関係者は「岸田氏は基本的に『現状維持』でやりやすい(電力会社幹部)」、「河野氏が当選しなくてよかったというのが正直な気持ち(原発メーカー幹部)と口々に話した。こうした歓迎ムードには、急激な改革よりも政策の継続や安定を求める企業の本音が透ける。

また、中国への対抗を意識した外交・安全保障政策を掲げた河野氏や、靖国神社に参拝する意向を示していた高市早苗前総務相が勝利すれば、「2012～13年に尖閣問題を受けて中国で起きた対日不買運動が繰り返されかねない(メーカー幹部)との警戒感も多かった。こうした不安も「岸田氏歓迎」につながったとみられる。

岸田氏の最優先課題はコロナ禍で打撃を受けた日本経済の再生だ。産業界には、岸田氏が総裁選で訴えた「成長と分配の好循環」について「中間層を支えている製造業への理解がある(自動車大手幹部)と評価する声上がる。経団連の十倉雅和会長は29日、記者団に「岸田氏の考え方は経団連が提唱するサステナブル(持続可能)な資本主義と軌を一にするもので非常に期待している。経済界も政府と一体となり良い関係を築きたい」と述べた。

経済対策への期待も強い。サントリーホールディングスの新浪剛史社長は「コロナ禍でたまった30兆円近くの貯蓄が速やかに消費に回るよう、需要喚起を期待する」とコメント。キリンホールディングスの磯崎功典社長も「コロナ禍でダメージを受けた雇用・経済対策を進める必要がある」と訴えた。

一方、「総裁選では、温室効果ガス排出実質ゼロや産業政策の議論が薄かったので、岸田氏の考えがよく分からない(メーカー社員)との声も聞かれる。「特技は人の話をしっかり聞くこと」と自任する岸田氏だけに「キングメーカーとして暗躍した安倍氏(晋三前首相)の意向に逆らえないのではないか(別の自動車大手幹部)と政策実行力を疑問視する見方もある。【山口敦雄、松山文音、古屋敷尚子、杉山雄飛、井川諒太郎】

富の再配分鮮明 「ばらまき」に懸念も 岸田文雄新総裁の経済政策は

毎日新聞 2021/9/29 19:32 (最終更新 9/29 19:32)



自民党の総裁室の椅子に座る岸田文雄前政調会長＝

東京都千代田区の同党本部で2021年9月29日午後6時47分、竹内幹撮影

岸田文雄前政調会長が29日に自民党新総裁に選出された。経済政策はどう変わるのか。総裁選中の発言などから探った。

「分配なくして需要喚起、次の成長はない。成長と分配の好循環を実現し、全国に成長の果実を届けたい」。岸田氏は総裁選後の記者会見で、経済政策の軸足を富の再分配に移す姿勢を鮮明にした。

その具体策として、岸田氏が総裁選で掲げたのが「令和版所得倍増」だ。従業員の賃上げに取り組む企業への税制支援や、子育て世代への教育費・住居費の支援などを通じ、国内の格差是正につなげたい考えだ。

一方、エネルギー政策では従来の政策を踏襲する方向。温室効果ガス排出削減を目指す観点から「再生可能エネルギーだけでは対応できない。原子力は大切な選択肢だ」として当面、原発の活用を継続し、原発の使用済み核燃料からプルトニウムを取り出して燃料に再利用する「核燃料サイクル政策」についても堅持する考えを示している。

「新型コロナウイルス禍を受け、富の再分配を重視する流れは世界的な潮流となりつつある。中間層への分配が弱かった小泉純一郎政権以降の経済政策を転換するという視点は評価できる」。こう指摘するのは、ニッセイ基礎研究所の矢嶋康次チーフエコノミスト。野村総合研究所の木内登英エグゼクティブ・エコノミストも「政策はバランスがとれており、中長期的には財政健全化の方針のもとで進めてくれるだろう」と期待する。

一方で、両氏がともに不安視するのは、衆院選を意識したと見られる「ばらまき」発言だ。

岸田氏は29日の記者会見で、年末までに数十兆円規模の経済対策を取りまとめると表明。総裁選中は消費税率について「10年程度は上げることは考えない」と語るなど、「令和版所得倍増」の裏付けとなる財源をいかに確保するか具体策は示していない。

矢嶋氏は「与党である以上、財源論から逃げてはいけない。消費税率引き上げの是非を最初から封印してしまったことも、社会保障を含めた幅広い議論が限定されてしまうリスクがある」と苦言を呈する。

木内氏も総裁選で、先進国で最悪水準にある日本の財政をどう立て直すかなど財政再建に向けた議論がほとんどなかったことを懸念する。「野党が大規模な経済対策を打ち出す中、選挙を意識して財政出動に言及せざるを得なかった状況は理解できる。しかし、2020年度中に使いきれず、21年度に繰り越しになった予算が30兆円超もある中、本当に新たな景気刺激策が必要なのかを含め『規模ありき』ではない議論を一から始めるべきだ」と提言する。

菅義偉首相は行政のデジタル化や脱炭素など政策の大きな方向性を打ち出したものの、その成果が十分に表れる前に政権を去ることになる。「政策の転換を含め、岸田氏が経済的な成果を得る最大のポイントは長期政権を維持できるかどうかにある」と矢嶋氏。コロナ禍の克服と低成長からの脱却、財政再建など難題が山積する中、岸田氏の手腕が問われることになる。【袴田貴行、町野幸、岡大介】

経済対策、数十兆円規模 岸田氏「年内に決定」

日経新聞 2021年9月29日 21:15 (2021年9月29日 21:47 更新)



記者会見する自民党の岸田新総裁 (29日、自民党本部)

部)

自民党の岸田文雄新総裁は29日、党本部で記者会見し「年内に数十兆円規模の経済対策を策定する」と表明した。子育て世帯や新型コロナウイルス禍で生活が困窮する人への支援策を強化する。

「成長なくして分配なし。しかし分配なくして次の消費、需要も喚起されない。分配なくして次の成長もない」と指摘した。「できるだけ幅広い国民の皆さんの所得や給与を引き上げる経済政策をとっていききたい」と訴えた。

岸田氏は「令和版所得倍増」を掲げる。看護師や介護士、保育士などの賃金引き上げを政府が主導して決めると説明した。「働きに比べて給与が少ないと言われている方々の公的価格は国が適正に引き上げる」と語った。

民間の賃上げの呼び水にする狙いだ。大企業と中小企業、高所得者と低所得者、大都市と地方の格差は正にも目配りする。

新型コロナの感染拡大に伴う支援も盛り込む。影響を受けた事業者向けの持続化給付金や家賃支援給付金の再支給を検討する。総裁選中は「非正規労働者や女性、困っている方々には直接給付金を用意しないとイケない」と語っていた。

与党の公明党は0歳から18歳を対象にした一律10万円の給付を主張しており、給付額や対象を調整する。

衆院選の公約として経済対策の概要を示し、選挙後に編成する補正予算案や当初予算案に反映する。

自民新総裁に岸田氏 決選投票で河野氏破る一来月4日に首相就任・幹事長に甘利氏浮上

時事通信 2021年09月30日00時23分



自民党の新総裁に選出された岸田文雄氏＝29日午後、

東京都港区



菅義偉首相の後継を選ぶ自民党総裁選は29日、投票結果、岸田文雄前政調会長(64)が決選投票で河野太郎規制改革担当

相(58)を破り、第27代総裁に選出された。岸田氏は挙党態勢を構築して衆院選に臨む考えを表明。10月1日の新執行部発足を目指し党4役の人選に着手した。幹事長には甘利明党税調会長(72)が浮上。高市早苗前総務相(60)や萩生田光一文部科学相(58)を要職で起用する案も出ている。

岸田氏の任期は2024年9月末までの3年間。10月4日召集の臨時国会冒頭で、第100代首相に指名される見通しだ。

岸田氏は総裁選出後、東京都内のホテルで開かれた両院議員総会であいさつし「ノーサイドだ。全員野球で党が一丸となって、衆院選、参院選に臨んでいこう」と呼び掛けた。新型コロナウイルス禍を「国難」と位置付け、「必死の覚悟で努力を続けなければならない」と強調した。

この後、党本部で記者会見し「丁寧で寛容な政治を行う」と表明。閣僚・党役員人事について、総裁選で争った河野、高市両氏と野田聖子幹事長代行(61)を何らかのポストで処遇する意向を明らかにした。「老壮青のバランスが大事だ」と述べ、中堅・若手の登用も進める考えを示した。

衆院解散に関しては「政治状況をしっかり見極め、しかるべき時期を判断したい」と説明。衆院選の勝敗ラインは「与党で過半数」と語った。

甘利氏は麻生派幹部で岸田氏の総裁選選対顧問。高市、萩生田両氏は安倍晋三前首相に近い。国対委員長には高木毅衆院議院運営委員長(65)が浮上。官房長官には小野寺五典組織運動本部長(61)や上川陽子法相(68)の名前が取り沙汰されている。

総裁選には岸田、河野、高市、野田4氏が立候補。1回目の投票は国会議員票382票と党員・党友票382票の計764票で争われ、岸田氏が256票でトップに立ったが過半数に届かず、1票差で2位になった河野氏との決選投票に進んだ。

決選投票は国会議員票382票と各都道府県1票ずつの党員・党友票47票の計429票の勝負となり、岸田氏が257票を獲得し、170票だった河野氏を下した。1回目、決選投票とも、1人が棄権し、1人が白票を投じた。

高市氏、要職起用も 官房長官に上川氏取り沙汰

2021/9/29 23:19 (JST)9/30 00:13 (JST)updated 共同通信社



高市早苗前総務相、上川陽子法相

自民党の岸田文雄新総裁は29日、政権運営の要となる幹事長など人事の検討に入った。麻生派の甘利明税制調査会長、細田派の萩生田光一文部科学相の起用案が浮上。岸田氏と総裁を争った高市早苗前総務相の要職起用のほか、上川陽子法相の官房長官起用も取り沙汰されている。複数の関係者が明らかにした。

岸田氏は総裁就任後、初の記者会見で人事に関し「若手だけを登用するのではなく、老壮青のバランスが大事だ」と述べた。

甘利氏は総裁選で岸田氏陣営の選対幹部を務めた。甘利、萩生田、高市各氏は安倍晋三前首相との関係が近い。

安倍氏、論戦で「支持者戻った」 自民総裁選、高市陣営会合で

表明

2021/9/29 18:50 (JST)9/29 19:07 (JST)updated 共同通信社

自民党の安倍晋三前首相は29日、総裁選で支持した高市早苗前総務相の陣営会合で、論戦を通じて保守派の支持を固め直すことができたとの認識を示した。「離れかかっていた多くの支持者が自民党の元に戻ってきてくれたのではないかと述べた。

総裁選に関し「私たちは高市氏を通じ、自民党がどうあるべきかを訴えることができた。確固たる国家観を示した」と強調。「岸田文雄新総裁の下で、一体となって次の衆院選を勝ち抜いていこう」と呼び掛けた。

地方票の投票率69% 自民総裁選、18年上回る

2021/9/29 22:26 (JST)9/29 22:43 (JST)updated 共同通信社

自民党総裁選で、全国の党員・党友の投票率は69.0%だった。安倍晋三前首相、石破茂元幹事長が争った2018年総裁選の61.7%を上回った。今回投票資格を持つ党員の選挙人数は計110万4336人で、76万2004人が投票した。菅義偉首相の退陣表明を受けた4候補による争いとなり、党員の関心が高まったとみられる。

岸田文雄氏が新総裁選出、第100代首相へ 決選投票で河野氏を下す

朝日新聞デジタル 2021年9月29日 15時31分



自民党総裁選で新総裁に選ばれ、あいさつをする岸田文雄氏（中央）=2021年9月29日午後3時16分、東京都港区、上田幸一撮影



自民党総裁選は29日、東京都内のホテルで投開票され、岸田文雄前政調会長（64）が決選投票で河野太郎行政改革相（58）を破り、第27代総裁に選出された。10月4日召集の臨時国会で、岸田氏は第100代首相に選ばれる。

国会議員票と党員・党友票（地方票）が同数の計764票で争う1回目の投票で岸田氏は、国会議員票でリードし、地方票で上回る河野氏を1票差で抑えてトップに立った。だが、過半数には達せず、上位2人による決選投票にもつれた。国会議員票が全体の約9割を占める決選投票では、議員票で優位に立つ岸田氏が河野氏に差をつけて勝利した。

総裁選で岸田氏は、新自由主義的な経済政策の転換を主張。数十兆円規模の経済対策の必要性などを訴えた。また、新型コロナウイルス対策などで「健康危機管理庁」の設置や、自民党役員の任期を制限する党改革も提唱した。

岸田氏は衆院広島1区選出の当選9回。2012年に党内の伝統派閥・宏池会の会長を引き継ぎ、外相や党政調会長など政府や党

の要職を歴任した。昨秋の総裁選に立候補し、菅義偉首相に次いで敗れていた。

「冬に第6波か、警戒続けて」 コロナ緊急事態解除一専門家 時事通信 2021年09月29日09時28分



厚生労働省専門家組織の協田隆字座長=27日、東京都千代田区

新型コロナウイルスの感染状況が改善したとして、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が、期限の30日で全面解除される。ただ、海外では行動制限緩和後の「リバウンド（感染再拡大）」が後を絶たず、専門家は「冬には第6波の襲来も懸念される。警戒と対策を続けるべきだ」と訴える。

厚生労働省の専門家組織は27日、感染者の急減が続き、重症者の減少や医療提供体制の改善が見られるとの見解を公表した。一方で、座長の協田隆字・国立感染症研究所長は記者会見で「安心感から人と人の接触が増えると感染拡大につながる」として気の緩みを警戒するとともに、マスク着用や3密回避などの徹底を改めて呼び掛けた。

感染症に詳しい、けいゆう病院（横浜市）の菅谷憲夫医師は「現在のワクチンは接種から半年ほどたつと感染予防効果が弱まる。接種が早期に始まった英国や米国では感染者が激減したが、行動制限の緩和もあり、急激なリバウンドが起きている」と分析。「接種時期から考えると、日本では12月ごろに第6波が始まり、来年1～2月にピークを迎える恐れがある」と警鐘を鳴らす。

菅谷氏は「ワクチンの効果もあり、あと1、2カ月は感染状況が穏やかなはず。国は今のうちに高齢者らへの3回目接種を準備し、病床逼迫（ひっばく）が再発しないよう医療提供体制を拡充する必要がある」と強調した。

さらに、今冬は昨年流行しなかったインフルエンザにも警戒が必要と指摘。「免疫がない人が多く、重症化しやすい高齢者や子どもは特に危険だ。新型コロナ、インフル両方の感染防止に向け、行動制限緩和後もマスク着用や手指消毒などの徹底を続けることが非常に重要だ」と話した。

WEB特集 コロナで父を亡くした記者が伝えたいこと

NHK 2021年9月29日 17時11分



私はNHKさいたま放送局に勤務する入局3年目の記者です。7月27日の夕方、携帯電話が鳴りました。市外局番は「076」、金沢市内の警察署からでした。

「マンションの部屋でお父さんが亡くなっているのが見つかりました。身元を確認したいので来ていただけますか」

単身赴任中だった父は57歳。

私は突然、「コロナ死」の遺族になりました。

感染状況は落ち着いてきましたが、自身の経験が誰かの役に立てばと思い、父が亡くなる前後の経緯、感じたことを記します。

(さいたま局 記者 粕尾祐介)
遺体発見後 検査でコロナ陽性



「きょう中に向かいます」
金沢市内の警察署から電話を受けたときは頭が混乱し、そう答えるのが精一杯でした。

事件・事故の取材を担当し、ふだんから警察官と話すのは慣れているはずなのに、父がどういう状況で亡くなったのか死因は何なのか、何も聞けませんでした。

急いで仕事を切り上げて大宮駅で北陸新幹線に乗り込もうとすると、また警察から電話がかかってきました。

「遺体発見後に抗原検査をしたら陽性でした。コロナに感染して亡くなったのかどうかはわかりませんが、きょうはお父さんの顔を見ることができないことをご理解ください」

父がコロナ...

感染して療養中だったわけではないので、正直まさかという思いでした。

「自宅には入らないで」



金沢駅で母と合流し、遺体が置かれた警察署に向かいました。父との対面はやはり認められず、撮影された写真で身元を確認。生活状況などの聞き取りを終えてホテルに着いたときには、午前0時を回っていました。

警察からの説明で、父を見つけたのは職場の同僚と分かりました。当日、在宅勤務をしていた父と連絡がとれなくなったため、管理人と部屋に入ったところベッドの上で死亡していたそうです。

母に聞くと父は軽度の糖尿病を抱えていて、ワクチンは翌週に接種する予定だったということです。

あまりにも突然すぎる父の死...

この日はなかなか寝付くことができませんでした。



翌日、遺品を整理するため父が暮らしていた部屋に行こうとしましたが、保健所から止められました。

「感染のおそれがあるので、最低でも3日間は部屋に立ち入らないでください」

亡くなった父と対面できず。最期を迎えた場所にも行けず。新型コロナウイルスの非情さ、そして無力感を感じ涙が止まりませんでした。

対面は3日後「5分以内で」

父が亡くなってから3日後、ようやく対面が許可されます。PCR検査も陽性で、死因は「新型コロナウイルス感染症」とされました。

「対面は5人以内で5分まで」

事前にそう伝えられていたため私と母と妹、それに叔父の4人で安置されている場所に向かいました。

ひつぎに納められた父はシートで二重に包まれ、顔の部分だけが見えます。

優しい表情で顔色も赤みが差していたので、まるで寝ているようでした。発見されたときも、父の表情は穏やかだったといいます。立ち会った警察官は「寝ている間に苦しまずに息を引き取ったのではないか」と話していて、それが唯一の救いに感じました。

実家に連れて帰りたいという気持ちもありましたが、金沢市からコロナに感染しているため市内で火葬するよう求められ、だびに付しました。

すぐに家に帰ることができない父がふびんでなりませんでした。



楽しみにしていた妹の成人式

メーカーに勤務していた父。私が小学校高学年のときから単身赴任の生活が続いていましたが、週末に帰ってきたときには食事や買い物などに連れて行ってくれました。

まじめで口数が少なく、責任感の強い人。それが父の印象です。記者になって思うような仕事ができないと愚痴をこぼしたとき、「そんなすぐにやりたいことができるものじゃない」とたしなめられました。

私が記者になることを反対していた時期もありましたが、社会人の先輩として厳しくも温かく見守ってくれていました。



(※遺影は家族の意向で一部加工しています)

す)

そんな父が楽しみにしていたことがあります。

亡くなった3週間後に予定していた妹の成人式用の写真撮影です。晴れ着姿を見るのを心待ちにしていました。

3年後には定年退職し、母と一緒に旅行を楽しむことも趣味のゴルフを思う存分することもできたはずでした。

久しぶりに実家で会い、駅まで送ったとき。車から降りる父に「じゃあ」と声をかけたのが、最後に交わした言葉となりました。

これまで育ててくれたことに感謝の気持ちを伝えたかった。

今はもう叶わない願いです。

亡くなるまでの経緯は

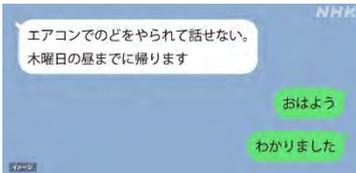
父は亡くなるまでの間、異変に気付かなかったのか。

家族や職場の方に話を聞くと、部分的にですが状況が分かってきました。

<7月20日(亡くなる1週間前)>

母が電話をかけるも、父は「のどが痛い」と言って会話を流る。

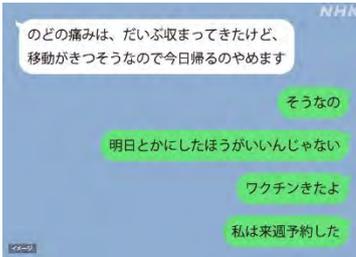
死亡診断書 (死体検案書)	
氏名	粕尾 祐介
性別	男
生年月日	天保 年 月 日
死亡したとき	平成 30 年 7 月 27 日
死亡したところの場所	名川郡金沢市
死亡した原因	新型コロナウイルス感染症(確定)
死亡の時刻	約6時間



父は、LINEで「エアコンでのどをやられて話せない。木曜日の昼までに帰ります」と、のどを痛めた理由をエアコンのせいだと伝えていました。

<7月22日(亡くなる5日前)>

家の用事で母のいる自宅に帰る予定だったが取りやめに。



父は、LINEで「のどの痛みは、だいぶ収まってきたけど、移動がきつそうなので今日帰るのやめます」と母にメッセージを送っていました。

やり取りの中で母は、ワクチンの接種券が届いたことなどを父に伝えていましたが、この状況でも、コロナに感染したとは思っていませんでした。

母もエアコンのせいだと思いついていたといいます。

<7月23日(亡くなる4日前)>

父が電話で母に「のどの調子もよくなり、元気になった」と伝える。

これが父と母の最後の会話になりました。

<7月26日(亡くなる前日)>

体調が回復したとして出社したものの、せきこむなどしたため午後から在宅勤務に切り替え。

この日の午後5時ごろ、同僚が電話をかけたときは、せきもなく元気そうだった。

<7月27日(当日)>

この日も在宅勤務で午前9時前にオンライン会議に出席。その後、連絡がつかなくなったため同僚がマンションを訪ね、亡くなっている父を発見。

職場の同僚に話を伺うと、父はいつも個室で一人で仕事をしていて、食事も弁当を持参するなど人との接触は極力控えていたそうです。

父の職場で感染者は出ていましたが、保健所からは濃厚接触者にはあたらないと判断されていました。

どこで感染したのかはわかりませんし、いまさら言ってもしかたありませんが、「父はなぜ異変があったときに新型コロナに感染したかもしれないと疑わなかったのか」「病院を受診していれば」と無念でなりません。

感染に気がつけていたのに

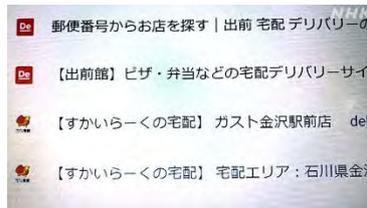
父の死から3日以上たち、ようやく部屋に入ることができました。



専門の業者が室内を消毒したあと、遺品の整理にとりかかりました。

リビングにはアルコール消毒液や大量のマスク、洗面所には非接触型のハンドソープが置かれていました。

そしてパソコンやスマートフォンの履歴を確認すると、頻繁に出前を頼んでいた記録が残されていました。



インターネットの検索履歴

母の話では感染が拡大してからは、得意ではなかった自炊も始めたとのこと。軽度の糖尿病を抱えていたこともあり、人並み以上に感染には気をつけていたそうです。

思い返すと高速バスで帰る際は混雑する時間を避けていたし、ことし実家で会ったときも食事は自分の部屋で一人ですべてしていました。

新型コロナへの感染を疑わなかったのは、対策は十分行っているという自負があったのかもしれない。

父の部屋を訪れたとき、そう感じました。

“コロナ死”の遺族として感じたこと

感謝の言葉も別れの言葉も何も伝えられず、父は突然逝ってしまいました。

命を奪った新型コロナウイルスがただただ憎いです。

そして父がのどを痛めたときや前日に体調が悪化したとき、感染に気付くチャンスがあったと思うと本当に残念です。

新型コロナに関するニュースを連日伝えていますが、父親に「もっとコロナの怖さを伝えておけば違う結果になったかもしれない」と自分を責めることしかできませんでした。



ワクチンの接種が進み、第5波も収まってきたことで、さまざまな活動制限は緩和されます。

父のように感染を恐れ、気をつけていても亡くなることがある。それも突然に...

自身が、そして大切な人がそうならないためにもできる限りリスクを減らす行動を続けてほしい。

そして少しでも体調に異変を感じたら、感染を疑って検査を受けるなどしてほしいと思います。



さいたま局 記者粕尾祐介 2019年入局 事件や事

故、新型コロナを取材

米中露が開発競う「極超音速ミサイル」、北が発射発表...韓国軍「開発初期で配備にかなりの時間」

読売新聞 2021/09/30 00:27

【ソウル＝豊浦潤一】朝鮮中央通信は29日、北朝鮮が新たに開発した極超音速ミサイル「火星8」型を、28日午前

チャガンドリョンリムグントヤンリ

に慈江道竜林郡都陽里から初めて発射したと伝えた。自衛隊や韓国軍が確認したミサイル発射とみられる。

朝鮮中央通信は、ミサイル本体から分離した「極超音速滑空飛行弾頭」の誘導・機動性などをテストし、いずれも技術的な指標を満たしたとしている。この弾頭は、変則的な軌道を極超音速(音速の5倍以上)で飛行し、米中露などが開発を競う極超音速滑空兵器(HGV)を指す模様だ。



北朝鮮が発射した極超音速ミサイルの発射実験

を伝える韓国のテレビ(29日、ソウルの駅で)＝AP

韓国国防省関係者は「高度約30キロで約200キロ・メートル飛行した」と本紙に説明したが、落下地点は不明だ。

韓国軍合同参謀本部は29日、探知速度などから、今回発射されたミサイルは「開発の初期段階」にあり、「実戦配備までかなりの時間がかかる」との見方を示した。さらに、現在の米韓連合軍の装備で「探知、迎撃が可能」とした。

北朝鮮、新型「極超音速ミサイル」を28日に発射実験と発表...操縦性と安全性など指標満たす

読売新聞 2021/09/29 10:08

【ソウル＝豊浦潤一】北朝鮮は28日午前、新型の極超音速ミサイル「火星8」型の発射実験

チャガンドリョンリムグントヤンリ

を慈江道竜林郡都陽里で行ったと発表した。朝鮮中央通信が29日伝えた。28日早朝に発射されたミサイルを指すとみられる。



28日、北朝鮮が都陽里で行った極超音速ミ

サイル「火星8」型の発射実験(朝鮮通信)

11、12日の新型長距離巡航ミサイル、15日の弾道ミサイルに続くもので、北朝鮮は攻撃手段の多様化を図っている。

極超音速ミサイルの発射は初めてで、「飛行操縦性と安全性」のほか、「分離された極超音速滑空飛行弾頭の誘導機動性」などの技術的指標を満たしたという。極超音速ミサイルの研究は、今年1月に開催された第8回朝鮮労働党大会で優先課題として示されていた。

パクジョンチョン

発射実験には党の朴正天書記が立ち会った

キムジョンウン

が、金正恩総書記の視察は報じていない。

二審も国と東電に賠償命令 原発避難巡る松山訴訟

2021/9/29 18:45 (JST)9/29 18:51 (JST)updated 共同通信社



東京電力福島第1原発事故を巡る避難者

訴訟の控訴審判決を受け、「勝訴」などと書かれた紙を掲げる原告側の支援者ら＝29日午後、高松高裁前

東京電力福島第1原発事故で福島県から愛媛県に避難した住民ら23人が、国と東電に計約1億3200万円の損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決で、高松高裁(神山隆一裁判長)は29日、一審松山地裁判決と同様に国と東電の責任を認め、賠償額も上積みして計約4620万円の支払いを命じた。

原告側によると、約30件の同種訴訟で高裁判決は4例目。国と東電の賠償責任を認めた高裁判決は、福島訴訟の仙台高裁判決と千葉訴訟の東京高裁判決に続き3例目。

神山裁判長は、国が原子力政策を積極的に推進した事実を踏まえ「国の責任範囲を限定するのは相当ではない」と言及し、上積みが相当と判断した。

原発事故で福島から愛媛に避難 2審も国の責任認める 高松高裁

NHK2021年9月29日 17時53分



東京電力福島第一原子力発電所の事故で愛媛県に避難した人たちが、国と東京電力を訴えた裁判で、2審の高松高等裁判所は1審に続いて国の責任を認め、国と東京電力に合わせて4600万円余りの賠償を命じました。

この裁判は福島第一原発の事故で愛媛県に避難した人たちが、生活の基盤を失い精神的な苦痛を受けたなどとして国と東京電力に賠償を求めたもので、1審の松山地方裁判所はおととし、国の責任を認めて東京電力とともに2700万円余りの賠償を命じていました。



29日の2審の判決で、高松高等裁判所の神山隆一裁判長は「東日本大震災の9年前に政府の機関が公表した地震の評価は、専門家の審議によるもので信頼できる。国は、これに基づいて津波の危険性を予測し、対策が取れたはずだ」と指摘して、1審に続いて国の責任を認めました。

そのうえで「慣れない場所で避難生活を続けて平穏な日常生活を営むことができなくなり、故郷も失った住民たちの精神的な苦痛は極めて深刻だ」として、ほとんどの原告について1審から慰謝料などを増額し、国と東京電力に対して控訴した23人に合わせて4600万円余りを支払うよう命じました。

原発事故で避難した人たちが国に賠償を求めた集団訴訟の高裁判決は全国で4件目で、国の責任を認める判決はこれで3件目です。

東電報告書は「表面的」 原子力規制委、テロ対策不備で

2021/9/29 12:48 (JST)9/29 13:05 (JST)updated 共同通信社

原子力規制委員会は29日の定例会合で、東京電力柏崎刈羽原発（新潟県）のテロ対策などの核物質防護に不備があった問題を巡り、東電が22日に提出した報告書について議論、委員から「表面的で踏み込んだ解析が少ない」などの意見が出た。規制委は今後、計画を策定し、本格的な検査に入る。終了まで少なくとも1年以上かかる見通し。

会合では、東電が設置した第三者検証委員会が、役職員らにアンケートするなどしてまとめた報告書の内容が、報告には十分反映されていないとの意見も出た。更田豊志委員長は「検証委の報告書をどのように理解、反映させようとするか今後の検査で聞いていく」と話した。

東電原発テロ対策 現地での検査で確認へ 原子力規制委員会

NHK2021年9月29日 17時13分



新潟県にある柏崎刈羽原発でテロ対策上の重大な不備が相次いだ問題について、原子力規制委員会の更田豊志委員長は「テロ対策と安全文化の双方に劣化がなかったのか、視野に入れて検査する」と述べ、東京電力が提出した再発防止策や原発の安全に対する考え方を現地での検査で確認する方針を示しました。



原子力規制委員会は柏崎刈羽原発で相次いだテロ対策上の重大な不備を受けて、東京電力が今月22日に提出した再発防止策などをまとめた報告書の取り扱いについて29日の会合で議論しました。

この中で委員から「再発防止策だけでなく、東京電力のテロ対策や安全文化の在り方も議論する必要があるので慎重な調査が必要だ」といった意見が出されました。

また、更田委員長は「原発の安全にも影響が及んでいないかが重要なポイントだ。テロ対策と安全文化の双方に劣化がなかったのかを視野に入れて検査する」と述べ、報告書の内容とともに原発の安全に対する考え方を現地での検査で確認する方針を示しました。

柏崎刈羽原発をめぐるのは、テロリストなどの侵入を検知する設

備の不備などテロ対策をめぐる問題がことしに入って相次いで明らかになり、規制委員会は「核物質防護上、深刻な状態だ」として東京電力に核燃料の移動を禁じる行政処分を出しました。柏崎刈羽原発は、状態が改善したと判断されるまで再稼働できない状態が続きます。

検査終了まで1年程度かかる見通し

原子力規制委員会の更田豊志委員長は、29日の会見で「しっかりした対策がとられ、きちんと維持されているかを検査で確認したい。検査には1年前後かかると思う」などと述べ、検査終了まで1年程度かかるとする見通しを明らかにしました。

柏崎刈羽原発の6号機と7号機は、再稼働に必要な審査に合格していますが、規制委員会は検査終了後に核物質防護上の深刻な状態が改善したかを判断するとしていて、少なくとも来年秋までは再稼働できない状態が続くとみられます。

このほか、再稼働には、新潟県など地元自治体の了解を得る必要もあります。

制御棒など低レベル放射性廃棄物処分で新基準 原子力規制委

NHK2021年9月29日 16時31分



原子力発電所の廃炉などで出る「低レベル放射性廃棄物」のうち、放射性物質の濃度が比較的高い廃棄物について原子力規制委員会は、人の生活環境から距離を取って処分するため、地表から70メートル以上深い場所で管理するなどとする新たな基準を設けました。

新たな基準は、原子力規制委員会が6年前から検討を進めてきた内容で、29日取りまとめました。

基準は、低レベル放射性廃棄物の中でも、原子炉の核分裂反応を抑える制御棒など放射性物質の濃度が比較的高いものが対象で、処分施設として必要な条件や管理方法などが明記されました。施設の場所については、

▽人の生活環境から距離を取り、地形が変化しても10万年は地表からの深さを70メートル以上に保てること

▽震源となる活断層が周辺になく火山の中心からも15キロ以上離れていること

▽掘り起こされるおそれがある鉱物資源などが周辺に存在しないことなどを求めています。

また、処分する事業者が管理する期間を300年から400年とし、この間、放射性物質が施設の外に漏れていないか監視する必要があります。

電力各社でつくる電気事業連合会によりますと、この基準の対象となる低レベル放射性廃棄物は、国内の原発だけでおよそ7700トン発生すると推計されています。

原子力規制委員会は今後、原発の使用済み核燃料から出る高レベル放射性廃棄物、いわゆる「核のごみ」についても処分の基本的な考え方を検討することとしています。

新潟水俣病、全被害者の救済を 1次訴訟勝訴から50年で宣言



新潟市内で記者会見する皆川栄一さん(左)と山崎昭正さん=29日午後

四大公害病で初めて原告企業を訴え、勝訴した新潟水俣病第1次訴訟の判決から50年となる29日、被害者団体などが新潟市内で記者会見し、加害企業の昭和電工や国に全ての被害者の救済などを求める宣言を発表した。

1次訴訟は1967年に被害者77人が昭和電工に損害賠償を求めて提訴し、71年に原告が勝訴。公害裁判の先駆けとなった。一方で77年には国が患者認定の基準を厳格化、現在も認定を求める訴訟が続いている。

宣言では、患者として認定される人は少なく、認定制度が被害者の切り捨てにつながっていると指摘。裁判が長期化していることや被害者らの高齢化に言及し早期救済を求めた。

NTT社長、平井氏接待認め陳謝 グループ運営の会食施設を閉鎖へ

2021/9/28 17:10 (JST)9/28 17:27 (JST)updated 共同通信社

NTTの澤田純社長は28日の記者会見で、昨年10月と12月に平井卓也デジタル相を自身が接待したことを認めた上で「認識が甘かった。反省している」と陳謝した。会食に使ったNTTグループの飲食施設を閉鎖する意向も明らかにした。

澤田氏は会食について、平井氏側が「デジタル化などについて意見を聞きたい」とNTT側に持ち掛けて設定されたと説明した。

会食に利用したのはNTTグループが運営する「クラブノックス麻布」(東京都港区)で、総務省幹部への接待でも舞台となった。澤田氏は「(グループの施設なので)コスト的にはそう高くないという認識だった」と釈明した。

安田菜津紀さん、ルーツ探る旅 父が語らなかつた祖父母は…

朝日新聞デジタル宮崎亮 2021年9月29日 20時00分



海水浴に行った幼き日の安田菜津紀さんと父=安田さん提供

フォトジャーナリストの安田菜津紀さん(34)が自身のルーツを探る旅を続けている。高校時代に亡き父が韓国籍だったと知ったことや、最近になって朝鮮半島出身の祖父母についての情報を得たことを今月18日、大阪府東大阪市内で語った。



対談で話をする安田菜津紀さん=2021年9月18日、大阪府東大阪市岩田町4丁目、宮崎亮撮影

東大阪朝鮮初級学校(同市)の創立75周年を記念する対談企画で、ジャーナリストの中村一成(イルソン)さん(51)と登壇した。企画は同校オモニ会などが主催した。

安田さんは幼き日の忘れがたい記憶から語り始めた。飲食店を営む父が早く帰宅し、絵本の読み聞かせに熱心な母に代わり自分をひざに乗せ、ページをめくった。だが読み方がおぼつかなく何度もつかえる。安田さんは「もういい」と絵本を突き返し言った。

「お父さん、日本人じゃないみたい」

いつも穏やかな父は笑っていたが、目の奥が悲しげだった。

高2の時、戸籍を見た 父の欄に「韓国籍」

中2の時に亡くなった父の出自を安田さんが知ったのは、高2の時。NPOのプログラムでカンボジアに渡ることになり、パスポート取得のため戸籍を取ると、父の欄に「韓国籍」とあった。父はなぜ生前にルーツを語らなかつたのか。取材の旅を続ける中で、安田菜津紀さんはその理由に思いをはせるようになります。会ったことのない祖父母の名前も初めて知ることになりました。

驚きのあまり身が固まった。同時に、あの日の父の表情や、父が何かを隠しているのではという家庭内での「小さな違和感」の答えを見つけた気がした。母からは不安定な生活のため十分な教育を受けられなかったようだ聞いた。



小学校入学前の安田菜津紀さんと父=

安田さん提供

誰かに話したかったが、ネット上で朝鮮半島への中傷を目にすると躊躇(ちゅうちょ)した。日本人として育った自身の「加害性」と向き合わざるを得なくなった。隣国を揶揄(やゆ)するような報じ方をするテレビ番組を無批判に聞き流していなかったか。在日コリアンへの差別事件には「背を向け、知らなくても生きていけていた」。

祖母は32歳で早世、祖父はプロボクサーだった

その後はカメラを手に国内外を巡り、貧困地域の子どもや難民、被災者らに寄り添うジャーナリストとなった。ただ父が生前に語らなかつたルーツの詳細は不明のまま。新たな情報を得たのはつい昨年のことだ。

亡くなった外国人の情報が記されている「外国人登録原票」の写しを国に請求できると知り、父と祖父母について請求したものが交付された。

祖母の名は「金玉子(キムオッチャ)」。11歳で釜山から来日し、いまの自分より若い32歳で亡くなっていた。祖父は「金命坤(キムミョンゴン)(一部記載は金明根)」。最近になり本人を知る人からプロボクサーだったと教えてもらった。最初に記載されていた日本の住所は父の出生地の京都市伏見区だった。

この地を案内したのが対談相手の中村さんだ。京都朝鮮第一初級学校(当時)周辺でのヘイトスピーチ事件の著作がある。自身の母が在日2世で、日本人の父から民族差別の言葉を投げかけられる姿を見て育った。母も祖母もルーツを隠していた。「安田さんが、自分がしようと思ってもできなかったルーツの探訪を続

けているのがうれしかった」



中村一成さん=2021年9月18日、大阪府東

大阪市岩田町4丁目、宮崎亮撮影

安田さんは事件当時の同校の保護者だった在日2世の男性に話を聞いた。男性は通名で日本の公立校に通い、民族差別を受けた経験から、あえて娘を朝鮮学校に通わせたという。「ルーツを肯定的に捉えてのびのび暮らせる環境に身を置かせたかった」と安田さんに語った。

ヘイト事件の映像はいまもネ…

残り 386 文字

岸田新総裁 気候変動政策で菅政権の「レガシー」生かせるか 毎日新聞 2021/9/29 21:34 (最終更新 9/29 22:14)



日米外相会談を終えて共同記者会見をする

ケリー米務長官(左)と岸田文雄外相(いずれも当時) =東京都港区の飯倉公館で2013年4月14日午後7時32分、宮間俊樹撮影

「2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロ」目標など、気候変動問題では積極的な対策を打ち出してきた菅義偉首相。実現に向けてはこれからが正念場だが、自民党新総裁に選出された岸田文雄氏は、この問題にどう取り組んでいくのだろうか。

菅首相は「50年実質ゼロ」表明に加え、30年度までの削減目標を「13年度比26%減」から「同46%減」へと大きく引き上げた。これらの削減目標は初めて改正地球温暖化対策推進法に明記され、首相が交代しても方向性は引き継がれることになる。

岸田氏は12年12月から17年8月まで外相を務め、その間、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」採択や、気候変動対策の国際枠組み「パリ協定」の批准などに関わった。ジョン・ケリー米気候変動問題担当大統領特使とは、オバマ政権の国務長官時代に40回以上会談している。ある環境省幹部は「国際潮流における気候変動対策の重要性を理解している方。菅首相が進めた政策と同じ方向性で進めていくのではないかと期待する。」



田んぼと並んで広がるメガソーラー。

2030年度までに温室効果ガス排出量を13年度比46%削減する目標を達成するには、太陽光など再生可能エネルギーの導入拡大が必須だ=福島県南相馬市で2020年1月30日、小川昌宏撮影

別の環境省幹部は「気候変動対策はこの先5年、10年が勝負で、時間の猶予がない。菅政権の約1年間で急ピッチに進めてきた対策を堅持し、更に強化することが今後の重要課題になる」とし、岸田氏については「官僚の意見をしっかりと聞く印象がある。

環境省からどれだけ対策の重要性を訴え、理解してもらえるかが、今後の政策を左右する」と話す。

総裁選4候補による党主催の討論会「オープンタウンミーティング」で、岸田氏は「再生可能エネルギーが重要であることは論を待たないが、(電力の)安定供給や価格についてもしっかり考えていかなければいけない。原子力や水素などさまざまなメニューを組み合わせ、課題を乗り越えていく姿勢が大事だ」と述べた。

政府が改定作業を進める政策指針「エネルギー基本計画」の修正案では、30年度の電源構成の見通しで、再生エネ36~38%▽原子力20~22%▽火力41%(うち石炭19%)——などとしている。環境NGO「気候ネットワーク」の伊与田昌慶主任研究員は「このままでは30年度までの『46%減』目標達成は難しいのではないかと。新政権では大排出源である石炭火力の議論を進める必要がある」と指摘する。

民間シンクタンク「自然エネルギー財団」の大林ミカ事業局長は「カーボンニュートラル(温室効果ガス排出実質ゼロ)宣言は菅政権のレガシー(政治的遺産)。進めてきた政策を後退させることはあってはならない。岸田さんの人柄の良さを生かして、レガシーを守り育ててほしい」と話す。【信田真由美、鈴木理之】

気候変動対策「スタートの合図遠のいた」? 自民・岸田新総裁の発言に若者らが心配

東京新聞 2021年9月29日 21時02分



自民党の新総裁に選ばれ、菅首相(左)に

花束を贈り握手を交わす岸田文雄氏=29日午後3時23分、東京都内のホテルで

新首相となるのが確実な岸田文雄氏の自民党新総裁就任に、地球温暖化対策の強化を求める若者や団体からは「対策スタートの合図が遠のいたのでは」と心配する声が上がった。

4月に参考人として国会で対策強化を訴えた若者グループ「Fridays For Future 鹿児島」の大学2年中村涼夏さん(20)は、菅政権が打ち出した2050年の温室効果ガス排出「実質ゼロ」宣言を「スタートライン」と位置付ける。実効性ある具体策に注目するが、岸田氏が総裁選の討論会で、発光ダイオード(LED)電球への切り替えや風呂の節水効果を例示したことで「一気に心配になった」と話す。

温暖化による気候変動は「気候危機」とも言われるため、NP

O法人「気候ネットワーク」理事平田^{きみこ}仁子さんは、温暖化への岸田氏の基本的な認識を疑問視する。1カ月後に迫る国連の気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)で、日本は石炭火力発電の廃止時期を示すなどの前進を期待されているとし、「LEDなど小手先の対応ではなく、問題の構造を緊急に学んでほしい」と求めた。

自然エネルギー財団常務理事の大野輝之さんは、岸田氏の脱炭

素路線の継続表明を評価しつつ、「既に経済は脱炭素へ動いている。企業の動きを促進する方向じゃないと経済政策は成功しない」と話した。(福岡範行)

グretaさん演説「政治家はベラベラとお題目を唱えるだけ」、地球温暖化に危機感

読売新聞 2021/09/28 22:30

【ローマ＝笹子美奈子】10月末から英国で開催される気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)の関連イベントが9月28日、共催国イタリアの北部ミラノで開かれた。スウェーデンの環境活動家で、世界の若者の大きな支持を集めるグreta・トゥンベリさん(18)が演説を行った。



28日、イタリア北部ミラノで開かれたCOP26開催1か月前の行事で演説するグreta・トゥンベリさん＝ロイター

グretaさんは演説で、「(政治家は)30年もの間、気候変動問題に対処する行動を起こさず、ただベラベラとお題目を唱えるだけで終わっている。私たちは今も、ものすごいスピードで間違った方向に進んでいる」と訴え、急速に進む地球温暖化への危機感を示した。

「私たちに必要なのはお題目ではなく、気候のための正義だ」と叫ぶと、会場の若者らも拳を振り上げて叫び、歓声がわき起こった。

グretaさんはCOP26に参加する意向を示している。環境問題が争点となった今年26日のドイツ総選挙では、投票日の前にベルリン入りしてデモに参加した。

シールドマシン 事故相次ぎ 設計や施工のガイドラインを作成へ

NHK2021年9月29日 9時38分



去年、東京・調布市の住宅街で道路が陥没するなど、トンネルの掘削工事に使用されるシールドマシンと呼ばれる大型の機械を使った事故が相次いだことを受けて、国は設計や施工についての指針＝ガイドラインを新たに作成し、技術者に周知することになりました。

シールドマシンは地下を掘削しながら進む大型の機械で、地下鉄や道路の建設や下水道の敷設などに広く使われていますが、近年、工事を原因とする道路の陥没などが相次いでいます。

このうち、東京・調布市では去年10月以降、住宅街で道路の陥没や地下の空洞が相次いで見つかри、「東京外かく環状道路」のトンネル掘削工事に使用したシールドマシンの中に土を取り込みすぎるなどの施工ミスがあったことが分かっています。

このため国土交通省は土木工事の専門家で作る検討会を設けて、シールドマシンを使った工事の設計や施工に関する指針、ガイド

ラインを新たに作ることになりました。

28日の初会合では過去に陥没事故が起きた工事を発注した東日本高速道路や鉄道建設・運輸施設整備支援機構が参加し、事故の詳しい原因や再発防止策が報告されました。

シールドマシンを使った工法をめぐっては、これまで設計や施工の際に留意すべき点は示されていましたが、地上への影響なども含めた指針はありませんでした。

検討会では過去の事故事例や原因を検証するなどして具体的なガイドラインを策定し、国はそれをもとに事業者に周知することになっています。

しんぶん赤旗 2021年9月30日(木)

核禁条約参加呼びかけ 核廃絶国際デー国連会合

ニューヨークの国連本部で28日、「核兵器廃絶国際デー」(9月26日)を記念する「ハイレベル会合」が開かれ、グテレス国連事務総長や各国代表は、今年1月の核兵器禁止条約発効を歓迎するとともに、核兵器廃絶実現に向けて、より多くの国が同条約に参加することを呼びかけました。

グテレス氏は、「核兵器保有は自衛ではない、自殺行為だ」「核戦争は勝利するものがない。敗者しか生まれない」として、核兵器開発を続ける核保有国を批判しました。

グテレス氏は核兵器禁止条約発効を「希望の兆し」と語り、「すべての国家が条約の目標を支持する」ことを訴えました。

シャヒド国連総会議長(モルディブ)は、「(核保有国は)安全、安保のために核兵器の開発を行っているが、これは反対の結果となっている。世界はより安全でなくなっている」と述べ、核抑止論に異を唱えました。その上で、禁止条約の発効は「核廃絶に向けたわれわれの取り組みの道標だ」と語りました。

各国代表は禁止条約発効を歓迎。来年春に1回目の禁止条約締約国会議が開かれるオーストリアの代表は、「会合はすべての国家に開かれている。(条約への)立場いかんにかかわらず、ウィーンに招待する」「世界がより安全になるため条約批准を」と述べました。(遠藤誠二)